

令和5年度 事業報告書 吉祥院いきいき市民活動センター

【指定管理者:NPO 法人ふれあい吉祥院ネットワーク】

1. 管理運営の状況

1 施設運營業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 5 名（常勤 3 名、非常勤 3 名）

【人材育成の取組】

・取組の具体例を記載してください。

センター長が中心となり、公共施設の管理・運営を担う職員としての自覚と義務の履行を求め、各種マニュアルや規定を整備し作成して、設備の操作や利用者への受け答えが十分行えるよう必要に応じて指導や研修を行う。また職員自身が市民活動のコーディネーターとして、自らの資質を高めていけるよう、十分な研修と事業を通じて、市民活動を支える人材育成に努めている。

具体的には職員同士のコミュニケーションを円滑にし、報・連・相の徹底と情報共有を第一にし、月に 1 回の職員ミーティングでは事業全体の進捗なども全員が共有。

常に自分自身の役割を把握し「考動」していくことを職員の目標に掲げている。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
81	94	105	108	99	99	109	104	98	81	111	111

(年間)

1200 件（前年度比 111%）

イ 利用状況

○ 年間での利用状況について、傾向などを記載してください。

ホームページを見て、新規利用者が増えたのと同時に、新規の定期利用者が増加した。また、会議室に鏡を設置したことによる効果も非常に大きく、ダンスや運動系で鏡を見る業種の増加が著しい。

○ 課題や改善が見られた部分があれば記載してください。

和室と料理室の利用に至っては前年より少し増えた程度にとどまっている。今後は料理室の設備の改善をしたり、和室の利用増には、和室を好んで借りている利用者への頻度増に向けての取り組みが課題。

ウ 利用促進に向けた取組

○ センターで取り組まれたことを記載してください。

SNS（インスタ・Facebook・公式 LINE・ホームページ）の発信でセンターを積極的な PR。近隣の施設や商業施設に協力依頼を行い、常時事業のチラシ等を設置する。

地域の回覧板や、市民しんぶんなどにチラシの折り込みを入れたり（無償）、地域の団体や学校と連携なども積極的にを行い、センターのアピールを行っている。

イベントの申込に 2 次元コードや Google フォームを活用して、ホームページからフェイスブックやインスタへのリンクなども行っている。

エ その他

○ サロンについて、利用状況や前年度と比較した増減の分析等を記載してください。

事業来館 1175 名、自由来館 360 名

前年対比 216%（事業来館 660 名、自由来館 49 名）

サロンで開催した事業に参加した人がサロンを知ることで、自由来館が増えたことが一番大きい。

ママ友同士の集まりや、保育園のママ友茶話会、同じ趣味を通じた集まりの開催など（将棋・カルタ・運動・着付け等）様々な目的で活用されている。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

○ SNSをはじめとする広報媒体により、情報発信に積極的に取り組んだ事例について記載してください。

ホームページには最新の情報を掲載し、Instagram やフェイスブックも常に更新行う。

○ センターの認知度向上だけでなく市民活動に関わる様々な情報を工夫して周知された取組があれば記載してください。

積極的に SNS 内で、市民活動支援をしている内容を発信。また市民活動をしている方に、活動の楽しさや面白さを話してもらい機会を設けた。

事実、そういった日々の様々な活動を通じて、市民活動の相談が増えた。

イ 取組の効果

○ アの取組により効果が見られた事例を記載してください（団体の立ち上げや事業の実施につながった など）。

団体の立ち上げ実績では、フラダンス同好会とストレッチ同好会が、こちらの手を離れて自立サークルになった。自分たちで貸館を借りて、スケジュールを立てて、毎月定期的にサークル活動を行っている。それにより貸館の売上収入にも繋がっている。

市民活動支援の事業実施では、メイクアップサークル・クラシックバレエ体験・英語リトミックを開催した。

(4) 管理運営

○ 防火管理者の選定、建築物の保守管理、建築設備の保守管理、備品等の保守管理、清掃業務、保安警備業務、植栽等保全業務の実績について、代表的なものを記載し、最後に「等を実施」と記載してください。

防火管理者の選定、建築物の保守管理、建築設備の保守管理、備品等の保守管理、清掃業務、保安警備業務、植栽等保全業務等を実施。

(5) その他

- 「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」で実施したものがあれば、その内容を記載してください。

来館者が気持ちよく利用できるよう、施設の掃除を徹底するようにした。

サロンのロビーにはエアコンが設置されていないので、扇風機を2台設置。

そして、サロンの入り口や裏庭に四季折々の植物を植栽して、親しみやすい景観に整えた。

そして、来館者との会話の中から地域住民と施設の共生が見いだせるため、職員全員が、来館者とのコミュニケーションを大切にしている。

また特にサロンは、自由来館利用という貸館とは違う位置づけなので、個々の様々な集まりが、多種多様なふれあいを生みだし、それが結果的に地域住民の楽しみや生きがいに繋がるという良い連鎖が広がっていく取り組みを目指している。

今後も、サロンで定期的に事業なども実施し、自由来館者も増えていき地域の方々に愛される活気ある施設にしていきたい。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】 吉祥院六斎念仏保存活動支援事業（サロン運営・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和5年4月～令和6年3月（毎月2回～4回） 等
- 2 開催場所： 吉祥院いきいき市民活動センター 別館サロン 等
- 3 参加人数： 3名～100名程度
- 4 協力団体等： 吉祥院六斎保存会・吉祥院小学校 等
- 5 予算： 1,017,000円 / 決算： 831,742円

1 事業内容

- ① 指導者育成支援 教材づくり：2023年5月～2023年11月（全9回）

子ども六斎用の教材のための太鼓・笛・鉦、吉祥院天満宮奉納の撮影を行い、教材用動画としてYouTubeの限定配信でアップした。

- ② 運営委員会：2023年6/2 6/16 10/8 10/27 11/10 2024年2/16（全6回）

吉祥院保存会との会議の場を設け、今後の事業の方向性を決めていった。

- ③ 六斎工作教室：2023年8月5日(土)10:30～12:00

・六斎総合学習：2024年1月19日(木)10:30～12:30

・伝えようプロジェクト：2023年10月～3月 第2・4金曜日

若年層に向けて地域の伝統文化を伝えるため、六斎工作教室を実施。

また、吉祥院小学校の3年生の総合学習には、吉祥院六斎保存会といきセンが協力して、子どもたちに六斎の歴史を話し、実際に太鼓を叩くという内容で実施。

六斎伝えようプロジェクトは、指導者の基盤を作るため、子ども六斎に参加していた成人に指導者として戻って来てもらい、練習に参加する働きかけを行う。

- ④ 鑑賞会：2023年8月～2024年1月

・SNS発信：随時（年間10回程度）

六斎を幅広く知ってもらうため、吉祥院天満宮の奉納の様子をYouTubeにアップした。また、InstagramやFacebookで講演情報の発信を行った。

吉祥院六斎保存会のInstagram開設と告知のバックアップを行う。

- ⑤ 六斎資料コーナー：2023年4月～2024年3月 随時

別館のサロンに飾っている写真を、最新の写真に変えて展示。

本館にある六斎資料室の電気をLEDに交換し明るい照明に変えた。

評価委員会より、動画作成とYouTubeでの発信は、保存会の記録を残す意味でも若者に伝統を引き継いでいく意味でも大いに重要と評価頂いていたので、積極的に行った。

2 準備段階での工夫

六斎保存会と事務局は、頻繁に連携行う。そして運営委員支援を通して、事業全体の内容と実施時期を吉祥院六斎保存会と確認をし、今後の計画を立てながら、優先順位を決めて取り組んだ。

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
地元団体のイベント時に、吉祥院六斎の Instagram の PR を行いフォローを促した。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

吉祥院六斎保存会に所属している大人が減り、指導者不足と成長と共に離れてしまう子ども六斎の現状を解消することが目標。日々の活動の成果もあり、友達の活動を見て影響を受けて、参加する子どもが増えてた。

六斎総合学習に参加した子どもたちからのお手紙より抜粋

「私にとって六斎念仏は大切な存在です」「獅子や土蜘蛛に興味を持ちました。
興味を持ったのは、みなさんが六斎のことを教えてくれたからです」「やってみたいと思った」「太鼓を打ったのが楽しかったです」

4 今後の抱負

- ① 教材づくりでは、獅子舞の中身の動画を撮影する。また、演目毎に動画を編集し、練習に活かせるような教材を増やしていく。
- ② 引き続き定期的な運営委員会を行い、事業の方向性や必要な支援についての情報交換を行っていく。
- ③ 地域の子どもたちへ自分たちの住んでいる場所にある伝統を知ってもらうため、吉祥院小学校の総合学習への協力と、工作教室を継続して続けていく。六斎伝えようプロジェクトでは、指導者不足解消の為に地域の中学校に総合学習の提案をしていく。
- ④ 様々な動画を SNS にアップして、後継者や支援者の発掘につなげていきたい。
- ⑤ いきセンや体育館の利用者の方が興味を持ってくれるきっかけとなるように、資料コーナーを充実させていく。



六齋念仏練習風景



NHK 取材



六齋念仏練習風景



六齋念仏練習風景



六齋総合学習



六齋総合学習



六齋工作教室



青い空保育園 訪問

【事業名】地域課題及び人材育成事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 5年4月 ～ 6年3月間随時
- 2 開催場所： 吉祥院小学校 / 吉祥院いきいき市民活動センター 等
- 3 参加人数： 5名～1000名（事業内容により変わる）
- 4 協力団体等： 吉祥院小学校・洛南中学校・市政協力委員会・吉祥院社会福祉協議会・自主防災会 等
- 5 予算： 1,012,000円 / 決算： 866,287円

1 事業内容

① ふれあいジャンボリー実行委員会自立に向けた支援

実行委員会：2023年 5/11 6/21 7/3 7/12 9/4 10/2 10/21 12/11

ジャンボリー実施日：2023年 10月 21日(土) 9:45～15:00

吉祥院ふれあいジャンボリーを自走化させるため、昨年につき、運営体制や運営資金、ジャンボリー実行委員会に今後の支援について理解してもらえるよう、ジャンボリー実行委員会の支援を行う。

② 吉祥院トーク：2023年 7/5 8/23 9/25 11/27 2024年 1/10

まち歩き：2024年 1月 27日(土) 9:30～12:30

吉祥院に住んでいる方々の「やりたいこと」を形にしていく事業。今回は、吉祥院の寺社仏閣の魅力を再発見するまち歩き。

③ いきセン講座：南青少年活動センターと共催

南青少年活動センターと共催し、様々なテーマの社会課題を学ぶオンライン事業。

吉祥院いきいき市民活動センター別館サロンでパブリックビューイング開催。

- ・地域で支える子ども・若者のトラウマ理解 2023年 5月 22日(月)13:00～15:00
- ・SNS相談～子ども若者支援の新しい可能性 2023年 7月 31日(月)13:00～15:00
- ・教育虐待～母親という呪縛 2023年 9月 2日(土) 13:00～15:00
- ・生きづらい子ども・若者たち 2023年 11月 10日(金) 13:00～15:00
- ・教育虐待から考える子ども 2024年 2月 9日(金) 13:00～15:00

- 評価委員会からは、南青少年活動と共催した SNS 活用事業は非常に良いと評価頂いたので、昨年度よりも回数を増やした。

2 準備段階での工夫

- ① 実行までに、ジャンボリー実行委員の方々と定期的に実行委員会を設けて、意見を出し合い、各団体が各々の役割を果たせるようにしていった。
2026年のジャンボリーをどうしていくのか、各団体が意識して取り組んでもらうよう働きかけた。
- ② 吉祥院トークでは、前年度の反省点を踏まえ、今回の事業に繋げられるようにした。
- ③ 南青少年活動センターの方と連携を図り、参加される人数等共有する。

地域の団体さんと連携し、近隣に配布する市民しんぶんチラシを折り込んで広報を行っている。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

- ① 自走化に向け、各団体さんの意識が少しずつ変わってきてきた。また、実行委員会では、参加者全員に発言してもらえよう工夫した。残り2年間で、更に自走化の意識を高めてもらい、完全自走化に向けて支援していく。
- ② まちづくりに興味ある人の発掘、地域課題の解決を目的にしており、地元の吉祥院の魅力を発掘したいという方が、少しずつではあるが増えてきた。そして、市民の方々がやりたいことを自主的に決めて形にしていくことができるようになってきた。
- ③ 引き続き南青少年活動センターと連携し、市民の方々に社会課題を学んでもらう場を提供していく。

(2) 事業実施による目標の達成度

ジャンボリーの自走化について、少しずつではあるが各団体さんの意識が自走化に向けて高まってきているように感じる。各団体の意識が少しずつ変わってきている。

まち歩きは、昨年のもち歩きに参加した人が、吉祥院トークに参加するようになり吉祥院でやりたいことを形にしていった。地域外の方の参加者には、吉祥院の魅力を広めることが出来たことが良かった。

ジャンボリーアンケートより抜粋「活動する諸団体の協力が得られて、皆が一つの方向を見つめることができた」「地域の人同士の交流の場としても良いイベント」

まち歩きアンケートより抜粋「お寺や吉祥院天満宮の話が聞けたので良かった」「普段見れないところを見せてもらえてとても良かった」「今まで知らなかったことが知れた」

4 今後の抱負

ジャンボリーの自走化について、各団体の意識が高まってきている。現在、吉祥院いきセンが担っているところを、徐々に各団体が行うよう振り分けていきたい。
まち歩きについては、積極的な集まりになってきているので、引き続き市民のやりたいことを形にしていく事業として確立させていく。



ジャンボリー



ジャンボリー



ジャンボリー



ジャンボリー



ジャンボリー



吉祥院トーク



吉祥院トーク



いきセン講座

【事業名】 市民活動スタートアップ・活性化支援事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：2023年4月～2024年3月
- 2 開催場所：吉祥院いきいき市民活動センター本館・別館・吉祥院地域体育館 等
- 3 参加人数：10名～100名（事業内容により異なる）
- 4 協力団体等：吉祥院消防団 等
- 5 予算：753,000円 / 決算：714,898円

1 事業内容

市民活動と地域との繋がりを構築し、市民団体・組織への参加を増やし、市民セクターや個人の活動を活性化する。

① サークル活動立ち上げ支援

- ・フラダンス同好会 2023年4月～2024年3月（全24回）14:00～16:00
- ・メイクアップサークル 2023年6/24(土)・7/29(日)（全2回）13:00～14:30
- ・リトミック 2023年8/18(金) 9/30(土)・10/28(土)（全3回）10:30～12:00
- ・クラシックバレエ無料体験 2023年7/6(木)・12/7(木)（全2回）17:00～20:00
- ・いきセン☆イラストクラブ 2024年2/17(土)（全1回）14:00～16:00
- ・音楽サークル 2024年3/2(土)（全1回）13:00～16:00

② ふれあいひろば

2023年11月23日(木・祝) 11:00～15:00

ふれひろ交流会：2023年4/17(月)・5/22(月)・6/26(月)・7/24(月)・8/24(木)・9/25(月)・10/25(水)

③ いきセン講座

2023年11月23日(木・祝) 11:00～15:00

市民活動をしている吉祥院消防団の方と、吉祥院いきセンでガーデニングのボランティア活動している市民の方にふれあいひろばで、市民活動やボランティア活動の楽しさについて話をしてもらった。

2 準備段階での工夫

全ての事業に共通して、参加される団体さんとは、SNSや対面、また電話等で密にコミュニケーションを取っていき、当日円滑に行うようにした。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

ふれあいひろばでは、センターの利用者さん達同士の交流、センターと地域住民との繋がり、また市民活動されている方の活動の場を提供し、市民活動支援に大きく寄与できた。

サークル活動立ち上げ支援では、個人で活動していたフラダンス同好会やリトミックは、当初同じ趣味を持った人同士の同好会から始まったが、6年度からは、各自で活動方針等を決めて、当センターの部屋を借りて自立に至った。

このような成功例が続くように取り組んでいく。

(2) 事業実施による目標の達成度

全項目の報告と重複するが、市民セクターの活性化や、個人の活動の自立や活性化が出来たことは達成度としては非常に高い。

ふれあいひろばといきセン講座で、アンケートを実施した結果、満足度において、とても良い 54%、良い 45%、普通 2%だった。(アンケート回答者 72 名) 出展者と来館者からも今までにないほど好評だったので、今回のやりかたをベースにして次回、もっと市民セクターの活性に繋がり、参加者に喜んでもらえるふれあいひろばにしていきたい。

(ふれあいひろばアンケートより抜粋)

「地域の方々の活動が見れて良かった」「人々と交流できることがとても良い」「各ブースが個性的で良かった」「面白いブースが沢山あり、バラエティー豊かだったこと」

4 今後の抱負

市民活動のサポートという点で、今後この事業には特に力を入れていきたい。

次回のふれあいひろばは、今年の良かったところを継続しつつ、更に市民セクター活動を広めていけるように取り組んでいくことと、これまでは ZOOM でミーティングしていたものを対面に変更し、もっとふれあいができる交流会を増やしていく。

常日頃から利用者の方々との交流を大切にして、相談してもらいやすい環境づくりと人間関係を大事にし、市民活動の活性化と自立化に向け取り組んでいく。



サークル活動立ち上げ支援

- ・リトミック
- ・イラストクラブ
- ・フラダンス同好会
- ・音楽サークル



ふれあいひろば



いきセン講座

- ・ガーデニング
- ボランティア
- ・吉祥院消防団

【事業名】地域交流拠点事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023年4月 ～ 2024年3月 （通年）
- 2 開催場所： 吉祥院いきいき市民活動センター ・別館サロン
- 3 参加人数： 10名～35名
- 4 協力団体等： 吉祥院児童館等
- 5 予算： 2,144,000円 / 決算： 1,882,809円

1 事業内容

地域間や世代間での積極的な交流の場を提供し、発掘した人材が活動出来る事業を実施し、市民にとって住みやすい、顔の見えるまちづくりと事業を通してサロンの利用促進に繋げる。

① 子育てサロン

- ・児童館コラボ事業：スクラップブックング・ベビーマッサージ・親子ヨガ（全7回）
- ・幼児性教育：2023年7/7(金) 8/4(金)11:00～13:30（全2回）
- ・栄養士座談会：2023年9/1(金)11:00～12:00 ※児童館より要望を受け実施
- ・放課後学習会：月2回17:00～20:00（全30回）実施
- ・親子で楽しむキラキラぬり絵：2024年2/4(日)10:30～12:00

② 今日は何の日？

- ・ストレッチ教室：2023年4月～2024年3月 2部制（全44回）
- ・小物づくり：2023年6/15(木) 7/20(木) 9/14(木) 10:00～12:00（全3回）
- ・ららら♪うたの日：2023年9/29(金) 毎月最終金曜日開催（全7回）
- ・脳トレ：2023年6/15(木) 毎月第3木曜日開催（全10回）
- ・しめ縄リース作り：2023年12/23(土)14:00～16:00
- ・台湾式坐禅：2023年4月～2024年3月 月4回開催（全46回）
- ・いきいき作品展
児童館作品展：2023年8月28日(月)～9月9日(土) 来館者数：約40名
合同作品展：2024年2月15日(木)～3月15日(金) 来館者数：約90名

③ 施設設備

- ・みんなのサロンプロジェクト：2023年4月～2024年3月 サロン利用者が利用しやすいように扇風機の増設を行う。寄付による絵本の補充等。
- ・いきいきガーデン：2023年4月～2024年3月（随時）四季折々の花を植栽。

2 準備段階での工夫

- ① 利用者が安心して施設を使えるように、安全面と衛生面を一層強化する。衛生面で気持ちのいい施設に意識した。SDGSの観点からも、絵本やおもちゃは購入せず、利用者さんや児童館から譲り受けたものを再利用した。
- ② 開催事業集客のため、SNSと地域の回覧板や市民新聞への折り込み、各施設へのチラシ配架手配、近隣宅へのポスティングなど幅広い告知を行う。
- ③ 花壇は土壌改良をして苗や種から育てた。サロンの庭の手入れも定期的に行い、四季折々の花壇にして、来館者や近隣の方々の目を楽しませた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

事業でサロンを利用した方が、その後自由来館でサロンを使う頻度が増えてきた。

子育てママの集まりや、趣味の着付けや、ダンスの練習等にも利用するなど、若い世代が増えてきたのも嬉しい。

(2) 事業実施による目標の達成度

概ね、事業の満足度は高い。地域の方はじめ、地域外から定期的に来られる方も増えている。当初目標にしている自由来館でのサロン利用が増えているのが非常に嬉しい。

(アンケートより抜粋)

「大人も子どもも夢中で楽しめた」「家ではできない体験ができてうれしい」「専門の方に相談できて不安や疑問が軽くなった」「他の方のお話を聞くことで学べるし、自分が気づかなかったこともあり、こういった場だからこそ共有できる」「こんな場所があるので嬉しい」

「いろんな事業があるので楽しみ」

4 今後の抱負

今後も、地域間や世代間での積極的な交流の場を提供していく。

またそこで出会った方々の活動の場とする事業を実施していく。

市民の方々のサロン利用促進を今後も増やしていく。



スクラップブック



ベビーマッサージ



幼児性教育



栄養士さんと座談会



キラキラぬり絵



小物作り



脳トレ



しめ縄リース作り



うたの日



いきいきガーデニング

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：1,573,400円（前年度比134.6%）

〔内訳 会議室等：1,573,400円〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
57%	38%	5%	0%	0%

(2) センター独自アンケート

いつも親切にしてもらっている。楽しい事業が多い。笑顔で対応してくれる。

3 意見等への主な対応状況

- 人気のある事業は引き続き継続していく。市民交流ができる事業を開催している。どのようなことでも相談しやすい環境作りを心がけている。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

貸館については、利用者件数と時間も前年より増えている。ホームページをリニューアルしてからは、センターの貸館状況などがタイムリーに見れるため予約に繋がるケースも多い。そして、利用者件数と共に利用時間も増えてきているのが今年度の大きな傾向。

サロン活用事業では、自由来館が顕著に増えてきている。事業を通じてサロンを知り、若い世代が友達同士の集まりでサロンを利用するケースや、趣味を通じて集まる場所に繋がってきている。

地域住民の人材発掘及び育成事業では、南青少年活動センターのオンラインセミナーを共催したことで内容が充実した。また、事業を通じて様々な方と交流が増えたことで市民セクターの活動の活性化に繋がってきている。

- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

会議室の利用は増加しているが、和室と調理室の利用増がまだまだ課題。料理室の設備（オープン）を新しくして事業を開催し、料理室の貸館利用に繋げていく。

- ・ 次年度に向けた対応について記載してください。

鏡がある会議室②の利用が増えているので、今後はキャスター付きの鏡を設けていきたい。事業に関しては、引き続き、ジャンボリーの自立に向けた支援と、六斎保存会活動支援を地域の取組俊て、各団体と協力しつつ、市民活動スタートアップ支援に一層力を入れ、自立していくまでサポート行い、貸館利用に繋げていく。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

例) 重大な事故やコンプライアンス違反等があった場合は、その概要、改善策等を記載

例) 年間事業計画にある事業の中で、実施できなかった事業があった場合は、その事業の名称及び内容、実施できなかった理由、中止した事業の取扱い（翌年度（令和6年度）に実施するのか、しないのか。）等を簡潔に記載

→ 特になし

【締め切り】

5月22日（水）までに地域自治推進室へデータ1部+紙1部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17部又は18部）を提出

※ 収支決算書は、5月15日（水）までに提出してください。

京都市吉祥院 いきいき市民活動センター
 指定管理料等に関する収支決算書（令和5年度分）

指定管理者名 NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク
 代表者名 野村 良博

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		19,133,360	19,133,360	0
利用料金収入		1,500,000	1,573,400	73,400
	会議室等	1,500,000	1,573,400	73,400
				0
				0
その他収入	地域体育館負担分管理費収入	3,400,000	1,609,104	▲ 1,790,896
	吉祥院診療所負担分管理費収入	450,000	215,548	▲ 234,452
	明日香デイサービス負担分管理費収入	840,000	470,583	▲ 369,417
	預金利息	100	54	▲ 46
				0
当期収入合計		25,323,460	23,002,049	▲ 2,321,411
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		8,598,600	7,816,427	782,173
	職員6名	8,598,600	7,816,427	782,173
				0
				0
				0
光熱水費		6,640,000	3,816,970	2,823,030
	電気代（本館）	4,400,000	2,286,284	2,113,716
	電気代（別館）	1,400,000	672,203	727,797
	ガス代（本館）	80,000	74,293	5,707
	ガス代（別館）	10,000	9,108	892
	水道代（本館）	450,000	490,554	▲ 40,554
	水道代（別館）	300,000	284,528	15,472
施設管理費		1,175,000	929,441	245,559
	受水槽・高架水槽清掃（別館）	40,000	38,500	1,500
	消防設備点検（本館）	45,000	44,000	1,000
	消防設備点検（別館）	45,000	44,000	1,000
	自家用電気工作物点検（別館）	150,000	146,520	3,480
	防火設備点検（別館）	40,000	38,500	1,500
	樹木剪定（本館・別館）	350,000	352,000	▲ 2,000
	機械警備（本館）	55,000	54,560	440
	機械警備（別館）	85,000	81,840	3,160
	定期清掃（本館・別館）	300,000	66,000	234,000
	一般、産業廃棄物収集（本館・別館）	35,000	36,048	▲ 1,048
	その他施設管理費	30,000	27,473	2,527
				0
事務費		431,000	431,492	▲ 492
	電話代（本館・別館）	155,000	160,461	▲ 5,461
	ネット接続等	240,000	236,524	3,476
	E B サービス	14,000	13,200	800
	NHK	22,000	21,307	693

修繕費		750,000	807,125	▲ 57,125
修繕：舞台アコーディオンカーテン サロン		750,000	145,475	604,525
修繕：消防設備 本館			65,450	▲ 65,450
修繕：玄関庇 本館			176,000	▲ 176,000
LED照明取替			420,200	▲ 420,200
備品購入費（5万円以上の物品）				0
				0
				0
				0
租税公課		1,706,000	1,581,500	124,500
法人税		60,000	74,000	▲ 14,000
地方法人税		3,000	7,600	▲ 4,600
法人市民税		60,000	54,400	5,600
法人府民税		35,000	20,700	14,300
法人事業税		15,000	17,200	▲ 2,200
特別法人税		20,000	6,300	13,700
消費税		1,500,000	1,401,300	98,700
印紙税		3,000	0	3,000
その他税		10,000	0	10,000
その他		1,096,860	1,062,213	34,647
会議費		5,000	0	5,000
広告宣伝費		10,000	0	10,000
事務用品消耗品費		30,000	73,532	▲ 43,532
備品消耗品費		150,000	530,657	▲ 380,657
コピー使用料		140,000	71,169	68,831
旅費交通費		5,000	0	5,000
福利厚生費		350,000	268,865	81,135
支払手数料		5,000	2,915	2,085
新聞図書費		0	0	0
雑費		5,000	0	5,000
研究研修費		10,000	8,000	2,000
印刷製本費(ナホ・トナ)		50,000	97,715	▲ 47,715
保険料		10,000	9,360	640
予備費		326,860	0	326,860
施設運営業務支出合計		20,397,460	16,445,168	3,952,292
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		1,765,000	1,581,185	183,815
地域課題及び人材育成事業		1,012,000	866,287	145,713
市民活動スタートアップ・活性化支援事業		753,000	714,898	38,102
サロン運営・活用事業費		3,161,000	2,714,551	446,449
吉祥院六斎念仏保存活動支援事業		1,017,000	831,742	185,258
地域交流拠点事業		2,144,000	1,882,809	261,191
その他	事業実施業務繰越	0	0	0
事業実施業務支出合計		4,926,000	4,295,736	630,264
当期支出合計		25,323,460	20,740,904	4,582,556
当期収支差額		0	2,261,145	2,261,145

令和5年度 事業報告書
上鳥羽北部いきいき市民活動センター

【指定管理者：一般社団法人 上鳥羽絆会】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長1名、職員7名（非常勤7人）

【人材育成の取組】

- ・職員定例全体会議：全員出席 1回/月（第1火曜日午前中）
その月の事業予定の確認、意見交換など
太陽光発電システム自立運転機能の作動確認も行っています。
- ・事業会議：随時 各事業の担当者が必要と判断した時にメンバーを集めて進捗状況の確認や意見交換を行います。議事録を職員内で回覧して、センター長が確認しました。
- ・職員研修：11月 講師を招き「公式ラインとインスタグラムの有効な使い方」
3月 講師を招き「学ぼう！コミュニケーション術」
についての研修を全職員が受けました。
- ・外部団体開催の研修会への参加：各事業の担当者が主に市民活動総合センターやエコ学区サポートセンター等の研修に参加し、アウトプットできるように努めました。
その他、吉祥院いきセンの事業に準備段階から参加したり、他センターの設備を見学させてもらったりと、各自が外に向けて積極的に関わることで自身の意欲やスキルの向上に繋がるように働きかけました。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
47	35	41	39	28	42	35	46	51	43	50	39

(年間)

497件（前年度比 103%）

前年度比⇒上期（4～9月）89.9% 下期（10～3月）120%

イ 利用状況

5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された後、利用の増加を期待していましたが思うように伸びず、上期は前年度を下回りました。それでも下期は夜間利用のストレッチサークルが2部構成になったり、昼間利用のフラワーサークルが回数を増やされたりと、新規利用団体が増えたというよりも継続利用団体の利用時間や回数が増加したという状況です。それは当センターを気に入って利用いただいていることも理由のひとつと捉えています。

また、今年度の特徴としてはスマホ教室やマイナンバーカード新規申請の事業者利用、遠方の児童館(滋賀県など)が近隣の公共施設に遠足で来られた際の昼食場所としての利用など、コロナ禍が明けてさまざまな活動が活発になってきたことを実感したことが挙げられます。

ウ 利用促進に向けた取組

昨年度から導入している「仮予約システム」については概ね好評で、3～4回の利用がある月もあります。今のところトラブルもないので今後も継続し運用していきます。

また、昨年いただいた助言のなかの交流人口を意識して、近隣の吉祥院いきセンの事業に参加した際に当センターが“意外に近い場所にある”というアピールをさせてもらいました。すると、6年度4月から試しに利用をしてくださる団体がおられたり、当センター事業に頻繁に参加してくださる方がおられたりと、よい効果が現れています。

エ その他

サロンについては、前年度同様に事業実施時には多数の参加者がありますが、平常時の利用は少ないです。今年度は併設している「ことしよ」のPRを兼ねて、サロンに来てもらい、おひさまカフェ事業のなかで「朗読会イベント」を実施しました。

引き続きボランティアスタッフからもアイデアを募り、サロン運営を盛り上げていきたいです。

(3) 情報発信など

ア 取組実績

情報発信については、“より見やすく分かりやすく”をテーマにしてホームページを一新しました。アクセス数の変化などは分かりませんが、今後も正確で新しい情報発信を心掛けていきます。

公式ラインの友だちを増やすべく、地域の行事などでもPRをしました。そのなかで、シニア世代にスマートフォンの使い方に困っていたり、基本的なことを教えてもらいたいと思っている方がまだまだ多くおられることも実感しました。事業周知についてはやはりチラシも有効です。手渡しで直接に事業の説明などしてコミュニケーションをとれることはSNSに無いよい点です。

また、学区全戸に配布するセンター独自の情報源として「いきセンニュースレターつなぐ」を年3回発行しました。センターの情報だけでなく、地域諸団体の活動も掲載しており、反響があります。

イ 取組の効果

「ニュースレターつなぐ」No.18に地域諸団体が実施した「落書き消しの取り組み」について掲載したところ複数の問い合わせがあり、次回実施の協力を申し出る団体や個人が現れてつながりが広がった、という報告がありました。地域の連携や活性化の役に立っている事例です。

(4) 管理運営

- ・センター長を防火管理者に選定
- ・同法人の中唐戸児童館の避難訓練(火災・不審者侵入)に参加
- ・日常の点検として各部屋、建物外周などを勤務職員が清掃時などに点検(毎日2回)
- ・建物安全点検チェックシートにて月1回点検

- ・壁，雨水排水，屋上(太陽光パネル)を年2回点検
- ・自然災害（台風）が発生したあとの点検
- ・太陽光発電パワーコンディショナー切替動作確認を月1回
- ・建物総合点検：年1回
- ・消防点検：年2回
- ・館内清掃：年2回
- ・樹木剪定：年1回
- ・保安警備：毎日

外部業者に委託

等を実施

(5) その他

「施設運営の質を高めるための取組」

○センター内だけで事業をすすめるのではなく，外部との交流や連携をより一層深めることで施設運営の質の向上を目指しました。

- ・事業担当者は積極的に市民活動総合センターに出向き，事業運営のアドバイスを受けました。

- ・各事業の運営にはボランティアを含め，市民から活動スタッフに多く関わってもらえるように働きかけました。そこでうまれるひとつひとつの思いや経験などを共有することがその後の自立的な活動につながると考えます。

- ・吉祥院いきセンの事業に準備段階から関わったり，貸部屋の設備(大型鏡)について他センターを見学させてもらい，同時に事業の話を開いたりすることは各センターの様子を直に知る事ができ，見習いたい点も多くありました。

○「なくてはならないいきいき市民活動センター」として，地域に寄り添いながら並走するいちばん身近な公共施設を目指しました。

- ・日々センターを訪れる方には，コピー機の使用方法を聞いて来られる方から自身の主宰団体の運営相談まで様々です。どのような時も誠実さをもってできる限りの対応をすることが求められます。そのためには職員は現状に満足するのではなく，個人としても組織としてもステップアップしていくことを意識してきました。

実践したこととしては，多様な利用者に対応するために車椅子を購入し，センター内で研修を受けました。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】エコ活動事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和5年4月 ～ 令和6年3月
- 2 開催場所： 上鳥羽北部いきいき市民活動センター，中唐戸児童館，学区内公園
- 3 参加人数： 延べ373名
- 4 協力団体等： 認定NPO法人きょうとグリーンファンド，エコ学区サポートセンター，中唐戸児童館
南エコまちステーション，有限会社ひのでやエコライフ研究所，上鳥羽自治連合会
- 5 予算： 1,090,000円 / 決算： 1,078,197円

1 事業内容

- 環境問題を地域社会のテーマとし，多世代の市民（子ども含）が参加したり共感したりできる事業を通じて未来のエコの担い手を育てることを主眼に事業展開しました。
 - ・上鳥羽エコロジー体験(8月)：「見て・遊んで・学べる」体験型環境イベントを開催。廃材を使って子どもたち向けにワークショップなど行いました。
 - ・自然観察会（11月）：学区内の公園で樹木や草花，昆虫などの生態の説明を聞き自然の尊さや楽しさを知る，小学生とその親子対象の事業。講師を招き実施しました。
 - ・エコマルシェ(6月・8月・10月・12月・2月)：学区内5か所の公園にて6品目の資源物回収と環境についてのミニ座談会を来場者と行いました。
 - ・ロケットストーブ製作(通年)：ロケットストーブ現物を地域開催のイベントで展示実演しました。製作は近隣高校の生徒たちと行えました。詳細は後述します。
 - ・中唐戸児童館との取組：中唐戸児童館とより緊密に連携して，子どもたちの環境に対する意識の向上やその方法など児童館の事業に共に関わるなどして共有しました。
- 市民の認知度や関心度を高めるためにも各事業を「京都市認定エコイベント」に積極的に申請登録しました。

2 準備段階での工夫

- 「上鳥羽エコまちくらぶ」の発足に向け市民活動総合センターのアドバイスをもらいました。現在は地域住民のなかからエコメイトがうまれて，年間の事業を協働しています。
- 太陽光発電をもっと身近に感じてもらうために上鳥羽絆会が中心となり児童館門上にオフグリッド時計を設置する事業のサポートをしました。夜間照明としても役立っています。
- 環境分野の専門家であるNPO団体などと常に連携できていることは強みです。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果，目標等

- 地球温暖化やSDGsの取組を各個人が意識することによって環境活動を広げながら担い手を育成することが目標。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 各事業の参加者は昨年から大幅に増加したわけではないですが，共に活動する仲間が増えたことや思いがけない縁で高校生と交流をもち，ひとつのものを作りあげることができたことについては達成度が高いです。

アンケート結果：「いきいき自然観察会」

いろいろな葉っぱが楽しかった(小2) エコのべんきょうができた(小2)
など、参加した子どもたちにとって良い経験として残っていることが伺えます。

4 今後の抱負

「上鳥羽エコまちくらぶ」が発足したことで共に活動できる仲間が増えたことは心強いです。身近な環境問題を子どもから大人までが自分事として考え、“よりよい未来”のために自分たちができる“ちょっといいこと”を今後も発信していきます。

次年度も既存事業の開催時期や内容の充実など再考しながら展開していきます。



【自然観察会】

講師の説明を熱心に
きく参加者の皆さん



【中唐戸児童館との取組】

オフグリッド時計設置の
点灯式

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】コミュニティガーデン ohana 支援事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和5年 4月 ～ 令和6年 3月
- 2 開催場所： 上鳥羽北部いきいき市民活動センター会議室 コミュニティガーデン「ohana」
- 3 参加人数： 延べ214名
- 4 協力団体等： あんしんあんぜん上鳥羽推進委員会 いきいき上鳥羽プロジェクト 写真サークル
- 5 予算： 325,000円 / 決算： 337,356円

1 事業内容

○ 地域の声から生まれたコミュニティガーデン「ohana」を地域や世代を超えた交流の拠点として、管理からイベントの発案まで行う任意団体「ohana会」と地域の活動を支援しました。

・花の町づくり事業：プランターを軒先に置いてもらえる企業や一般家庭を募り、花を通じてのつながりが広がるような活動をサポート

・ローズガーデン撮影会：バラの開花に合わせて任意団体「写真サークル」や一般来場者ともに撮影やSNS投稿のサポート

・研修会やイベント企画開催：ローズウィークやワークショップなどの企画や広報、実施のアドバイスと当日の運営補助

・助成金申請情報・書類作成サポート：昨年度採択されたセブンイレブン財団からの助成金活用報告書作成などサポート

2 準備段階での工夫

○ 事業実施には複数の任意団体が関わることが多いが、平日は就労している世代が多いので当日の参加人数の調整やタイムスケジュールの共有などオンラインで行うこともありました。

○ 花々にまつわる事業なので、SNSで美しい写真などをアップするように心掛けました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

○ 誰にでも花を愛でる気持ちがあることを信じ、地域住民や参加者が当団体の活動を通じて花だけでなく、周りの人や地域全体に豊かな気持ちを持ってもらえるきっかけをつくるのが目標。

(2) 事業実施による目標の達成度

○ 継続的にすすんで花の手入れなどしてくださる方も増えてバラの開花を楽しみにしておられる方も多くなりました。この場所が地域のなかの交流スポットとして重要になってきていることには達成度は高いです。

4 今後の抱負

○ 今年度はセブンイレブン財団の助成金を活用して地域にプランターを複数置くことができたが、次年度は資金的に難しいので、その対策や代替えの活動などを共に考えてサポートしていくことが必要と考えます。



【ローズウィーク】

ゲスト「畳バンド」
のミニコンサート



【花の町づくり】

一般家庭の軒先に
植え込みをするボラ
ンテアさんたち

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】いきいき上鳥羽プロジェクト（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和5年 4月～令和6年 3月
- 2 開催場所： 上鳥羽北部いきいき市民活動センター会議室 学区内公園3か所 上鳥羽小学校
- 3 参加人数： 2165名（ラジオ体操，コミュニティ回収持ち込み者を含む）
- 4 協力団体等： ohana 会，あんしんあんぜん上鳥羽推進委員会，上鳥羽小学校
上鳥羽ネットワーク，JA 上鳥羽，
- 5 予算： 1,240,000円 / 決算： 1,264,440円

1 事業内容

- 地域から生まれた団体の活動を支援。人と人とのつながりと地域の歴史や文化・伝統の継承に結びつくような事業を多様な観点から協働で実施しました。
- ・上鳥羽の農業を考える：ふらっとスペース開催（5，12月）ミニしめ縄づくり（12月）
- ・健康づくり事業：学区内3か所公園でラジオ体操を実施（週1回地域のボランティアを中心に運営）
11月には吉祥院いきセン「ふれあいひろば」に参加。当センターを出発しウォーキングで現地へ。近隣施設の作業療法士の指導のもと，会場の来場者とともにラジオ体操をイベントとして実施
- ・いきセンニュースレター「つなぐ」：取材，編集して3回発行（7，11，3月）
- ・上鳥羽の歴史を探る：「上鳥羽伝承座談会」を支援（9月） 地元の高齢者に語り部や進行役となってもらう。上鳥羽小学校の郷土資料室の整理と展示物の充実を小学校と連携して行う。
- ・上鳥羽検定：地元の良さを再認識してもらうためニュースレターの中にクイズ形式の“ミニ上鳥羽検定コーナー”を掲載
- ・みまもりプランター事業：地域団体との交流事業
- ・コミュニティ回収：ごみの減量を目指し毎月第2日曜日開催

2 準備階階での工夫

- 昨年に引き続き，若い担い手の育成に力を入れました。中心メンバーとして活発に気兼ねなく活動できるように必要に応じて専用の活動部屋を準備したりオンラインを利用したりと，卒業後も継続して関わられるように働きかけました。
- 定期的にニュースレターを発行し各戸に届けることで，地域独自の情報やセンター事業の案内などが「自分の手元に残る」情報源として機能します。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果，目標等

- 市民の自主的な活動を支援する目的から，持続可能である自立的な活動につながるよう多様な観点から取り組むことが目標。また，参加者同士の交流から他事業への参加や貸館利用につながることを期待しました。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 「上鳥羽伝承座談会」の試みは学区の小学校を巻き込み，上鳥羽南部いきセンの水害関連資料を借りたり，センターのシニア利用者に更に上の世代の方たちを紹介してもらったりと，ボランティアスタッフ達のスムーズな連携が際立ちました。当日も自身の経験を

大切に話される高齢者，それを書き留めてすぐに SNS で発信してくれる学生スタッフ，そんな光景が確実に自立的な活動に向かっていると考えます。

4 今後の抱負

交流で生まれた“コミュニティ”を活かし，新たな活動と人の輪の広がりを模索していきます。それが貸館利用につながるように支援を続けていきます。

【ふらっとスペース】



【上鳥羽伝承座談会】



【健康づくり事業】

「ふれあいひろば」でラジオ体操

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】おひさまカフェ事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：①令和5年4月～令和6年3月 毎月第2日曜午後2時～3時「おひさまカフェ」
②令和6年1月～3月 毎週金曜午後6時30分～午後8時「大人のヨルカイ」
- 2 開催場所：上鳥羽北部いきいき市民活動センター 会議室及び自宅などから zoom 参加
- 3 参加人数：①延べ226名 ②延べ36名 合計 延べ262名(リモート参加含)
- 4 協力団体等：日曜歌声倶楽部等センター利用団体 京都シニア大学朗読愛好会
- 5 予算： 555,000円 / 決算： 548,785円

1 事業内容

○ ①月に一度決まった時間に参加者同士の交流が図れる場を設けました。交流会の様子は毎回 zoom アプリを利用してオンライン配信し、リモート参加も可能にしました。テーマはフリートーク、ヨガ配信、クリスマス会、朗読会 in ことしよ、うたごえカフェなど参加者の要望や提案を基本に設定しました。また、外部から講師を招き「SNSの活用について」講習会を実施し、職員のスキルアップを図りました。

②定例とは違う時間帯に新たな活動への参加者を募ることを目的に「大人のヨルカイ」を実施しました。

○ 助言から、これまでセンターを知らなかった方や利用したことがない方にも興味を持ってもらえるように参加者目線の意見や提案を積極的に毎月のテーマに取り入れました。それを公式 LINE で発信することで地域外からも初参加する方もありました。

2 準備段階での工夫

○ ボランティアスタッフとのコミュニケーションや情報交換を密にすることで信頼関係を築き意見交換や提案等をしやすい環境づくりを心掛けました。そこから京都シニア大学とつながりが持て、クリスマス会やサロン事業への出演となりました。

○ 会場設営や ZOOM 配信等の配線など機材設営にボランティアとして協力してくれる利用者がおられました。

○ 公式 LINE を利用しての参加案内とセンター窓口での声かけなど多様な方法での広報

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

○ 参加者同士の意見交換を通し、自ら楽しみを見つけ共有してもらうことが地域の活性化につながる。また、市民活動に興味を持ってもらう機会にもなり、異世代間の交流等が「自分も何かやってみたい」の思いを大きくしていくことが目標。そこで生まれた仲間やグループが他の市民団体とあらたな関係を築いていくことにも期待しています。

(2) 事業実施による目標の達成度

○ 事業テーマ設定やそのイベント実施に向けての準備やスケジュールリング、当日の司会進行までボランティアスタッフの手で自主的に行えた内容も多く、職員は支援する側に回るといういい形で年間活動ができたことには達成感があります。

アンケート結果：「クリスマス笑」

- ・参加者，出演者ともに皆さんいきいきとしておられるのでこちらも笑顔で楽しめた
- ・内容が充実していてよかった。また開催してほしい

4 今後の抱負

○「月に一度 誰もが気軽に参加できる交流の場」として少しずつ認知されてきましたが，更に交流が広がり，事業への協力者や運営側に回るあらたな人材の発掘や出会いの充実を目指したいです。既存のボランティアスタッフとの信頼関係の維持にも気を配り，自走化へ向けてのバックアップも継続していきます。



【クリスマス笑】

舞台発表と作品展示

【カフェ交流会】



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】なごみスペース～ようこそ～（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和5年 4月～ 令和6年 3月
- 2 開催場所： 上鳥羽北部いきいき市民活動センター 2階サロン
- 3 参加人数： 387名
- 4 協力団体等：いきいき絵本くらぶ ， 写真サークル
- 5 予算： 540,000円 / 決算： 544,037円

1 事業内容

○ 子育て世代からシニア世代まで多様な世代が集える場所を提供。“個と社会をつなぐ拠点”として機能するような事業を展開しました。

・なごみスペース～ようこそ～の開放：通常はフリースペースとして開放しているが、計画事業として「シェアエアコン」「ことしよ開設イベント」「記念日写真館」を実施。各事業で多年齢の参加者が共に過ごせました。

・講師を招き講演会，講習会を実施：2種類の講座を継続開催。特に体操講座は参加者の口コミにより常に満席。

・スタッフ定例会議：月1回意見交換をする場。「いきいき絵本クラブ」の活動日と並行。

2 準備段階での工夫

○ センター利用者さんの紹介で SKY 朗読同好会の皆さんに事業出演してもらえました。普段なかなか知り合う事がない団体との交流ができました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果，目標等

○ 誰もが気軽に立ち寄り，多世代間交流の拠点となる場所とすることが目標

(2) 事業実施による目標の達成度

○ 参加者同士が仲良くなり他の事業にも連れだって参加されたり，こんな事業をしてほしいと意見をいただいたり，仲間づくりや交流の拠点として機能し始めていることには達成感があります。

○絵本クラブの活動と環境系 NPO 法人を繋げることができ，ひとつの作品を一年をかけて完成させ，発表の場を設けることができたことはコロナ禍を乗り越え続けてきてよかったとの感想がありました。

4 今後の抱負

○ 「ことしよ」の活用と活動スタッフの自立的な活動を活かしたサロン運営を展開することです。ある程度自由な発想の事業が行える利点をもっとしっかりと伝えて，職員もともに魅力あるサロンをつくっていきたいです。

【記念日写真館】

写真サークル会員がカメラマンに



【朗読会 in ことしょ】



3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1	利用料金の収入実績
	令和5年度実績：433,600円（前年度 379,900円）
	〔内訳 会議室等：433,600円〕
	〔 附属設備：0円 ※自主事業分を除く〕
	〔 スモールオフィス：0円〕
2	管理運営に係る経費の収支決算
	別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1	利用者満足度の把握状況										
(1)	全センター共通窓口サービス調査										
	【実施時期】 令和5年11月実施										
	【調査項目】 窓口サービス										
(2)	センター独自アンケート										
	事業実施時にアンケートを実施										
2	利用者満足度把握の結果										
(1)	全センター共通窓口サービス										
	<table border="1"><thead><tr><th>たいへん満足</th><th>満足</th><th>不満</th><th>たいへん不満</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>57.9%</td><td>41.8%</td><td>0.3%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答	57.9%	41.8%	0.3%	0%	0%
たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答							
57.9%	41.8%	0.3%	0%	0%							
(2)	センター独自アンケート										
	・いきいき自然観察会(エコ活動事業)：概ね満足										
	・クリスマス笑(おひさまカフェ事業)：概ね満足										
	・朗読会 in ことしょ(おひさまカフェ・サロン合同事業)：概ね満足										
3	意見等への主な対応状況										
	場所のわかりやすさについては毎回意見をいただいている点です。2階の窓に「貸会議室1h300円～」という表示をあらたに加えて外からの見つけやすさを強調しました。また、事業チラシにもQRコードをつけてそれを読み込むと最寄りの駅やバス停からの徒歩ルートがわかるようにしました。今できる範囲の対応を今後も考えていきます。										

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

取り組んだ事業等の総括

貸館事業については件数は微増しており、緩やかですが回復傾向にあります。使用料金を上限額よりも低く設定しての運営を始めて2年目となります。当センターの立地環境や世の中全体の値上げ傾向のなかでの利用者の心理など総体的に考えると、適切な判断だったのでは、と思います。

市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業については、コロナ禍が落ち着き、外へ向けての活動が活発に戻って、そこに大勢の来場者やボランティアなどを呼び込めたことはよかったと思います。

また、今年度は思いがけない縁から活動のお手伝いをさせてもらうことで、私たちの意欲向上にもつながることがありました。ひとつめは、京都市立開建高等学校の防災クラブの皆さんとロケットストーブ製作をしたことです。これは南区役所の防災担当者からの紹介で地域の防災について関心が高い生徒たちと当センターの環境活動がうまくマッチングして実現しました。ふたつめは、京都が大好きだという東京大学大学院の中国人留学生さんが当センターの環境活動を含めた上鳥羽学区の取組を取材に来られ、交流が持てたことです。こちらはエコ学区サポートセンターからの紹介でした。いずれにしても、数年間コツコツと事業として積み重ねてきたことが、このようなかたちとなり、今まで全く接点なかった団体との結びつきになったことは今後のやりがいにつながります。

今後、解決すべき課題など

- ・貸館件数をアップさせることとその方法を考えること
- ・地域づくりの担い手を育成するために、いきいき市民活動センターが持つ役割をもっと広く知ってもらい、その役割を果たすためにどうすればよいかを職員内で再度共有して向き合うこと

次年度に向けた対応について

貸館件数のアップについては、設備の充実を行います。過去から何度か意見箱にもあった大型鏡を第2会議室に設置します。ダンスや着付けなどの利用団体の増加が見込めます。その他、日々の利用者の意見も吸い上げ、コンプライアンスも含めて丁寧で柔軟な対応を継続することに努めます。

「地域づくりの担い手育成」や「活動団体の自走化のための支援」はその方法に正解がなく自己評価も難しいです。それでも、職員内に現状維持を肯定する雰囲気まん延してしまわないように、指定管理期間の半分が終わって、残りの期間に施設として何ができるのか？何がやってみたいのか？を常に共有して管理運営していきます。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

令和5年度財政援助団体等監査を受けました。

問題点は改善済です。

京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
 指定管理料等に関する収支決算書（令和5年度分）

指定管理者名 一般社団法人上鳥羽絆会

代表者名 代表理事 前川 勝六

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		14,024,460	14,024,460	0
利用料金収入		800,000	433,600	▲ 366,400
	会議室等	800,000	433,600	▲ 366,400
	スモールオフィス			0
				0
その他収入	光熱水費分担金			0
	個別事業参加費			0
	受取利息		105	105
				0
				0
当期収入合計		14,824,460	14,458,165	▲ 366,295
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		7,152,000	7,823,272	▲ 671,272
	非常勤職員8名	7,152,000	7,265,337	▲ 113,337
				0
	法定福利費		557,935	▲ 557,935
	福利厚生費			0
光熱水費		550,000	477,787	72,213
	電気代	420,000	383,417	36,583
	ガス代	60,000	45,313	14,687
	水道代	70,000	49,057	20,943
施設管理費		845,000	835,516	9,484
	樹木剪定	80,000	77,000	3,000
	定期清掃等	135,000	114,400	20,600
	消防保守点検	30,000	24,200	5,800
	建築設備点検	55,000	55,000	0
	警備費	92,400	95,480	▲ 3,080
	カラオケリース料	198,000	202,400	▲ 4,400
	事業所ゴミ回収	59,280	54,780	4,500
	HP更新・施設案内他	195,320	212,256	▲ 16,936
				0
				0

事務費		1,532,460	1,204,890	327,570
	電話代	120,000	186,311	▲ 66,311
	税理士顧問料	120,000	130,900	▲ 10,900
	事務費他	730,000	789,277	▲ 59,277
	社内教育費	100,000	0	100,000
	その他事業・雑費	462,460	98,402	364,058
				0
修繕費		1,000,000	37,000	963,000
	設備補修	500,000	0	500,000
	修繕費（網戸取付）	500,000	37,000	463,000
				0
備品購入費（5万円以上の物品）				0
				0
				0
租税公課				0
				0
				0
その他		5,000	5,000	0
	賠償責任保険料	5,000	5,000	0
				0
施設運營業務支出合計		11,084,460	10,383,465	700,995
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,210,000	3,228,778	▲ 18,778
	エコ活動事業	1,090,000	1,078,197	11,803
	いきいき上鳥羽プロジェクト	1,240,000	1,264,440	▲ 24,440
	リモートDEおひさまカフェ	555,000	548,785	6,215
	コミュニティーガーデンohana 支援事業	325,000	337,356	▲ 12,356
				0
サロン運営・活用事業費		540,000	544,037	▲ 4,037
	なごみスペース～ようこそ～	540,000	544,037	▲ 4,037
その他	事業実施業務繰越			0
事業実施業務支出合計		3,750,000	3,772,815	▲ 22,815
当期支出合計		14,834,460	14,156,280	678,180
当期収支差額		▲ 10,000	301,885	311,885

令和5年度 事業報告書
上鳥羽南部いきいき市民活動センター

【指定管理者：株式会社丸起】

目次

1. 管理運営の状況.....	1
1 施設運營業務.....	1
(1) 職員体制.....	1
(2) 貸館等.....	1
(3) 情報発信等.....	2
(4) 管理運営.....	3
(5) その他.....	3
2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業.....	4
1. 市民活動支援・活性化事業.....	4
1. 上鳥羽六斎念仏 発表会 (9/24)	4
2. 上鳥羽六斎念仏 勉強会 (10/14, 11/17)	7
3. 歌声サロン (第 1, 3 金曜日)	10
4. 健康体操 (第 1, 4 木曜日)	12
5. 健康実践交流 1 (11/4)	14
6. 卓球交流会 1, 2 (9/2, 3/9)	16
7. 世代を超えた音楽交流会 (6/3)	18
8. 音楽交流会 2 (1/20)	21
9. いきセン利用者交流会 (12/9)	23
2. サロン運営・活用事業.....	25
1. 脳トレーニング	25
2. サタデーカラオケサロン&日曜カラオケ	27
3. マージャン交流	29
4. ふれあい絵てがみ.....	31
5. 抹茶交流	33
7. 造形教室	35
8. フラワー教室.....	37
9. ふれあい書道.....	39
3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算.....	41
4. 施設の利用者満足度の把握	41
5. 指定管理者による管理運營業務の自己評価.....	44
6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項	45

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 5 名（常勤 3 名、非常勤 2 名）

【人材育成の取組】

5 年度にはセンター長が体調不良で入院となったために、11 月にセンター長が交代した。新センター長は情報分野に優れ、センター事業の多様な情報発信を広げている。情報発信の強化は、当センターの課題の一つであった。また、3 年目を迎える常勤の女性スタッフの堅実な勤務態度は評価される。さらに、6 月から 40 代男性を常勤スタッフとして採用し、センター長を補佐する等、センター長を中心としたいきセンの連携体制が整いつつある。

人材育成の視点も含め、月 1 回のセンター会議（センター職員と指定管理者との話し合い）を開催し、スタッフ同士の力量アップに努めている。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
63	69	57	64	68	54	57	58	48	52	63	73

(年間) 726 件 (前年度比 ○113%) (令和 4 年度 642 件、令和 3 年度 552 件)

イ 利用状況

○年間での利用状況について

利用時間、件数において第一会議室は全体の 80%、第二、第三会議室の利用はそれぞれ約 10%であった。

第一会議室は、全体として午前午後の卓球の団体利用が 80%を占めている。卓球では、平日と土曜日はシルバー世代が、日曜日はファミリー世代が利用している。夜間の利用は増減はなく、音楽練習やダンス、会合での利用が主である。

第二会議室、第三会議室は、コロナで控えられていた楽器・音楽練習での利用が増えてきている。

事業者利用は、マイナンバーカードの出張申請所、上鳥羽六斎念仏のテレビ中継の場所としての利用があった。

○課題や改善が見られた部分

- ・利用されるのは第一会議室に偏っており、第二、第三会議室の利用が少ない。
- ・平日の午前、午後や土曜日に比べ、夜間や日曜日の利用が少ない。件数は少ないが夜間や日曜日の新規利用者にヒアリングすると、ネットで検索していきセンのことを知ったとのこと。情報発信の成果があったと思われる。

ウ 利用促進に向けた取組

○センターで取り組まれたこと

HP などへの情報発信もあるが、実際に利用されている利用者が過ごしやすい環境づくりに力を入れている。来館時や退館時の声かけやちょっとした相談事への対応などで、職員に親しみやすさをいただけてもらえるようにした。

利用者向けではあるが、会議室の空き状況が手軽にわかるように、1ヵ月間の予約状況の一覧を作成掲示した。

参加者を募集しているサークルや事業が多くあるが、いつ実施されているのかがわかり易いものがなかったため、1ヵ月間ごとのカレンダーを作成し配布した（今までなかったこともあり、わかりやすいと好評をいただいている）。

エ その他

○サロンについて

令和元年度～5年度の利用状況

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
件数	119	19	47	219	330
人数	1117	161	247	994	1739

令和4年度に比べて、件数、人数ともに増加した。

増加した理由としては、4年度に引き続いてサロン運営・活用事業を9事業実施しており、昨年は年度の途中からスタートした事業が4月から実施することができたこと、年度の途中で実施回数を増やした事業があること、サークル活動として陶芸教室をスタートしたことが挙げられる。

事業以外での利用は6件（会合や一人カラオケで使用）。利用を増やすためにサロンの利用状況一覧を作成して配布しており、利用促進を図りたい。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

○SNSをはじめとする広報媒体により、情報発信に積極的に取り組んだ事例について

センターのホームページには、実施事業の実施風景の写真などを一覧表示で掲載し、一覧でわかるようにした。

Facebookには年間267件投稿した。事業の実施予告や実施風景を写真や動画で投稿し、どのような人が参加し、どのようなことをしているのかをわかるようにして親しみを感じるようにし、初めていきセンを利用しに来る方が来館しやすくなるような紙面を心掛けた。

ジモティには、昨年から継続してセンターの情報を掲載した。いくつかの新規利用者は、京都市内で卓球ができるところをWebで検索して見つけたと聞いており、利用促進に役立っていると考えている。

事業のチラシを地域回覧板で回覧した。また、実施日が近くになってしまったものについては、各いきセンへチラシを直接配達するなどした。

○センターの認知度向上だけでなく、市民活動に関わる様々な情報を工夫して周知された取組
センターに持ち込まれたチラシは、了解を得て Facebook へ投稿した。また、上鳥羽地域の
ことであれば実際に赴いて取材し、写真や動画をアップした（上鳥羽六斎念仏や、地域の
寺院のイベントなど）。

イ 取組の効果

○アの取組により効果が見られた事例

団体の立ち上げや、事業の実施などにつながることはなかった。

(4) 管理運営

○防火管理者の選定、建築物の保守管理、建築設備の保守管理、備品等の保守管理、清掃業
務、保安警備業務、植栽等保全業務の実績について

- ・センター本館1，2階の窓ガラスを中心とした清掃業務、第一会議室の床のワックスが
け、建築設備と消防設備の定期点検、センターの南側と西側の植樹の剪定等を実施。

(5) その他

○「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」
で実施したもの

- ・「施設運営の質を高めるための取組」として、月1回センター職員と指定管理者による会
議（センター会議）を実施している。定期開催することで課題を共有することができ、管
理運営で行った点検や保守などを計画的に行った。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

1. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】上鳥羽橋上鉦講中（上鳥羽六斎念仏）～継承と発展～ 取組① 発表会（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年9月24日（土）13時～15時15分
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター 第一会議室
- 3 参加人数： 24名
- 4 協力団体等：上鳥羽橋上鉦講中
- 5 予算： 48,000円 / 決算： 48,000円

1 事業内容

第1部 「獅子と土蜘蛛考」の講話（講師：山中崇裕氏）

第2部 蜘蛛の巣の制作過程の紹介

上鳥羽六斎ジュニアによる「四つ太鼓」「獅子と土蜘蛛」の実演
蜘蛛の巣の実技体験

○評価委員会から指摘された事項と改善点

- ・講座型のスタイルに留まっている。
- ・参加者同士の交流や関わりが希薄。

2 準備段階での工夫

- ・上鳥羽六斎念仏講中の方と内容について打ち合わせを行うにあたり、後継者の発掘が話題となった。演目で必要となる小道具の「蜘蛛の巣」の作成には手間がかかるものだが、現在2名の高齢者が作成しており、後継者が必要であると考えておられていた。そこから事業内容を検討していった。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・六斎念仏の担い手の育成と地域の人材の発掘を目標とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

○(1)の達成度について自己分析し、記載してください。

- ・講話の内容は、参加者にとって初めて聞く内容であった。また、上鳥羽六斎念仏ジュニア（上鳥羽六斎念仏の子ども教室）の子ども達にとっても初めてで、六斎念仏についての理解が深まった。
- ・アンケート結果からも六斎念仏に興味を抱いた方が現れた。後継者発掘のきっかけとなったと考える。

- ・講中からは上鳥羽六斎ジュニアへの加入者が増えているとの声が聞こえており、講中の課題である地域から六斎念仏の担い手を発掘することの一助になったと思われる。

○アンケート結果などから

- ・上鳥羽六斎ジュニアとして出演していた小中学生も、「蜘蛛の巣」を作成しているところを見ることがなかったようで、自分たちが演じていることについての理解を深めることができた。

4 今後の抱負

- ・講座だけにならないようワークショップ形式を取り入れたが、準備不足な点があった（蜘蛛の巣の体験させる機会が初めてであったので、扱い方や投げ方の説明がうまくできず、上手く投げられない人が多く見られた）。また、講話についての質疑応答の時間を作ることができなかつたり、演奏が始まる直前に楽器の忘れ物があったことに気づき終了時刻が遅くなってしまうたりと、不備な点が見られ、改善したいと考える。
- ・上鳥羽六斎念仏を地域をあげて伝承、保存、支援していくために、方法について講中とも話し合い、他の団体と連携できることがあるかも検討していきたい。

事業風景の写真



【事業名】上鳥羽橋上鉦講中（上鳥羽六斎念仏）～継承と発展～ 取組③ 勉強会（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：第1回 令和5年10月14日（土）13時30分～15時15分
第2回 令和5年11月17日（土）13時30分～15時
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター 本館2階旧図書室
- 3 参加人数： 第1回：28名 第2回：14名
- 4 協力団体等：京の風流踊振興会
- 5 予算： 96,000円 / 決算： 91,000円

1 事業内容

ユネスコの無形文化遺産に登録された京都の風流踊の普及啓発のため、「京の風流踊振興会」と連携し、勉強会を2回実施した。

- ・第1回「京都の六斎念仏 ー風流と個性の楽しみ方ー」（小林孝夫氏 京都の祭り・民俗文化研究家）
京都市内の六斎念仏の個性や違いを映像を交えて紹介し、「獅子と土蜘蛛」の曲の違いを考察。
- ・第2回「六斎念仏における祇園囃子の受容と変化」（吹田哲二郎氏 千本六斎会会長）
祇園祭と六斎念仏の祇園囃子を比較し、「六斎念仏らしさ」を考察。

○評価委員会から指摘された事項

- ・講座型のスタイルに留まっている。

2 準備段階での工夫

- ・講師や勉強会の内容については事前にいきセンと振興会とで相談し、プレゼンや資料の内容については上鳥羽橋上鉦講中にも協力を仰ぎ校正作業を行っていただいた。
- ・勉強会の告知について、チラシやSNSへの宣伝は振興会といきセンでそれぞれ行うことにした。
- ・事業の様子を Facebook でライブ配信を行うことにした。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・地域住民に六斎念仏を知っていただくこと。振興会と連携し、地域以外にも広く普及活動を行うこと。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1)の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・参加者は京都市内から広く来られていたように見受けられた。普及活動の一助となったと言える。

- ・ 2回目の勉強会は時間が足りずに紹介できなかった内容があった。終了後、講師と一部の参加者がいきセンに残り、その内容について交流を図られた。参加者同士の交流という点では足りないので、交流をはかる仕組みが必要である。
- ・ アンケートからは、「貴重なお話でした。とてもおもしろかったです。」「実際の各地域の風流踊をみて、楽しんでいます。来年はもう少し深く見られたら良いと思います。」「9月に六斎念仏の実演を拝見したので興味を持ちました。これからは現地で見学したいと思います。」と、興味を抱かれた人が多くあった。普及活動の一助となったと言える。

4 今後の抱負

- ・ 事業の目標が普及啓発にあり、まだ広く知られていない六斎念仏についての情報を発信していく活動であったため講座型となった。質疑応答や勉強会後に交流があったりしたが、参加者との交流を深めるための手立てを検討したい。
- ・ 参加者の中に、バス停が見つからないのでタクシーで来たという方があった。いきセンの最寄りの停車場行きのバスは1時間に1本なので、そのバスを逃してしまうと事業の開始時間に間に合わなくなる。京都市内から広く参加者を集める場合には、交通機関の案内方法に工夫が必要である。

事業風景の写真



【事業名】健康長寿チャレンジ事業 取組① 歌声サロン（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：第 1,3 金曜日 14 時 30 分～16 時 年 24 回
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター サロン、本館 2 階旧図書室
- 3 参加人数：210 人/年
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算： 288,000 円 / 決算： 288,000 円

1 事業内容

高齢者の認知症予防と住民の健康づくりを目指す。

- ①参加者は、HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシ等を活用して募集する。
- ②講師は坂下正幸氏（音楽療法士）。認知症予防の講話と音楽、ボイストレーニング体操等の実技トレーニングに取り組む。楽器等は講師が用意する。
- ③いきセンは連絡調整や会場設営などを行う。

○評価委員会から指摘された事項と改善点

- ・指導者が固定されている。

2 準備段階での工夫

- ・自治連合会の老人会の方が参加されており、参加者募集の呼びかけをしていただいた。
- ・歌声サロンで使用する楽器の準備、片づけは参加者がこなすよう協力を仰いだ。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・高齢者の認知症予防と住民の健康づくり、また参加者が継続して参加することも重点とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・各回の参加人数は平均 8.7 人で、継続して参加される方が多い。
- ・アンケートはしていないが、毎回和やかな雰囲気で行われていた。「いつも楽しく歌っています」との声があり、皆参加する事に意欲的になっておられた。

4 今後の抱負

- ・新規参加者の定着が課題である。講師の活動は京都市内に拡大していると聞くので、参加者を増やす方法を検討したい。
- ・歌声サロンの実技体験、参加者の意欲的な参加意識、講師と参加者との良好な人間関係など、好ましいつながりが形成されてきた。講師が固定化されていることについては指導者・参加者とも相談していく。

事業風景の写真



【事業名】健康長寿チャレンジ事業 取組② 健康体操（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：第1,4木曜日 14時～15時 年24回
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター サロン、本館2階旧図書室
- 3 参加人数：176人/年
- 4 協力団体等：京都市南区地域介護予防推進センター
- 5 予算： 293,000円 / 決算： 52,000円

1 事業内容

- ①参加者は、HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシ等を活用して募集する。
- ②京都市南区地域介護予防推進センター（推進センター）と連携し、講師は健康運動指導士。講師は実施日によって異なる。
- ③健康体操は、座位でタオルを使用し、筋力トレーニングと整理体操を行う。
- ④活動場所は本館2階旧図書室で、空調がないため夏季はサロンを利用する。

○評価委員会から指摘された事項

- ・講座型のスタイルに留まっている。
- ・高齢者に偏っている。

2 準備段階での工夫

- ・実施日について、参加者の希望をヒアリングし推進センターと調整した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・月2回の体操を続けていくことで、生活リズムの改善や体調不良の改善、よりよい健康生活を獲得すること。
- ・健康体操の成果を地域に広げ、住民の健康志向を高めること。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・前年度(134人)と比べ参加人数が増えており、新規参加者もあった。健康体操を地域に広げることには効果があったと思われる。
- ・健康運動指導士の指導がわかりやすく、熱心に参加される方が多い。
- ・新規参加者の中には爽やか体操（サロン運営・活用事業取組①）にも参加されるなど、体操の広がりが感じられる。

4 今後の抱負

- ・年度の途中で推進センターの方針が変更になり、講師を要しないサークル活動への転換が求められるようになった。参加者のより自主的な活動が必要となり、いきセンはそれをサポートしていきたい。

事業風景の写真



【事業名】健康長寿チャレンジ事業 取組③ 健康実践交流1～子どもの健康保障と課題（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年11月4日（土）13時30分～15時
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター 第一会議室
- 3 参加人数： 8名
- 4 協力団体等：山ノ本児童館
- 5 予算： 16,000円 / 決算： 13,000円

1 事業内容

小学校の学校教育では、タブレットによる自主的な学習が取り組まれている。一方で、スマホやゲーム機の使用により、基本的な生活習慣の乱れや心身に不調をきたす子どもも見られる。このような状況で保護者や地域住民が子どもの健康な生活のために「大人として何ができるのか？」を参加者同士で話し合うワークショップを行う。

- ①参加者は、HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシ等を活用して募集する。
- ②児童館厚生員より「子どもとSNSの世界」と題して話題提供をする。
- ③2グループに分かれて、話し合う。
- ④各グループの話し合いの報告と提案を行う。
- ⑤まとめ

○評価委員会から指摘された事項

- ・講座型のスタイルに留まっている。

2 準備段階での工夫

- ・現在の子どもの様子や問題について参加者が知り、議論ができるように、子ども達と接している児童館に協力を仰いだ。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・現在の子供達の現状を知り、参加者が子どもの健康な生活のために「大人として何ができるのか？」について考え、それぞれの意見を持つこと。
- ・講座型ではなく、話し合いによるワークショップの手法を取り入れること。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・子供達の現状の様子や問題について、児童館厚生員の講話によりよく知ることができた。
- ・子供の事例を出し合い、健全な成長についての議論を深めることができた。
- ・スマホやゲーム機をいかに効果的に使いこなすかについて、多様な意見が出された。また、大人の課題でもあるとの認識を共有でき、具体的な行動まで落とし込める方もあった。

4 今後の抱負

- ・アンケートからも、参加人数が少ないとの指摘があった。ワークショップによる話し合いの形式がいきセンとして初の試みであったためか、地域からの参加者が少なかった。今回参加された方からは「もっと大々的にやれば良いと思う。」のような、ワークショップについては好意的な意見をいただいた。参加者募集の広報に工夫が必要である。

事業風景の写真



【事業名】健康長寿チャレンジ事業 取組④ 卓球交流会 1、2（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年9月2日（土）13時～16時、令和6年3月9日（土）13時～16時
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター 第一会議室
- 3 参加人数：卓球交流会1：23名、卓球交流会2：22名
- 4 協力団体等：なし
- 5 卓球交流会1（予算：3,000円／決算：3,000円）
卓球交流会2（予算：4,000円／決算：4,000円）

1 事業内容

- ①地域から参加者を募集する。2ではより広範囲から参加者を募集し、各いきセンなどにチラシを配布する。
- ②いきセンを利用している卓球サークルに協力を呼びかけ実行委員会を作る。
- ③実施内容やルールは実行委員会で相談し決めていく（交流を重視し時間を決めたラリー形式とする。相手が打ちやすいように心がける、など）。

○評価委員会から指摘された事項

- ・企画運営における双方向性、利用者・団体側の自発性が求められる。

2 準備段階での工夫

- ・実行委員会を作り、事前に話し合いでルールや進行を確認し、当日の進行がスムーズに進むようにした。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・卓球交流会を通じて、地域住民の交流を促進し、地域の社会貢献の担い手育成を図る。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・アンケートからは、「毎年、やって下さい。」「ゲームでなくて和気あいあいでも良かったです。」「又企画があれば参加させていただきます!」「いろんな人と、いろんな事（技）をおしえてもらって良かったです。」と、事業の内容には高い評価が寄せられた。しかし、実行委員会で進めたが、担い手の発掘、育成という点での達成はできていない。

4 今後の抱負

- ・参加者からは事業の実施を求める声があったので、6年度も事業を計画している。参加者で事業の実施が行えるようになるよう、支援していきたい。

事業風景の写真



【事業名】世代間交流事業 取組① 世代を超えた音楽交流会(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年6月3日（土）13時～14時30分
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター 第一会議室
- 3 参加人数： 34名
- 4 協力団体等：山ノ本児童館、近江会（江州音頭）
- 5 予算： 83,000円 / 決算： 83,000円

1 事業内容

①山ノ本児童館によるハンドベル演奏「カントリーロード」

②江州音頭ワークショップ

近江会（江州音頭団体）が演奏し、参加者全員で江州音頭を踊る（交流会当日に向けて、練習会を2回実施した）。

③葦笛ワークショップ

葦笛演奏家による演奏と葦笛文化の紹介
葦笛の演奏体験（10名）

○評価委員会から指摘された事項と改善点

- ・市民活動支援が不足している。

2 準備段階での工夫

- ・立ち上げられたばかりの初心者で構成されたよし笛サークルから、演奏技術を高めたいとの声があり、よし笛演奏家によるワークショップを企画した。
- ・コロナ以前、上鳥羽地域では毎年夏祭りで盆踊りが踊られていた。5年度に夏祭りが予定されており、いきセンの利用者の間で盆踊りを懐かしむ声があった。また、いきセンで音頭の練習をされている近江会からは、実際に踊る人の前で音頭をとると良い練習になるという相談を受け、事業に取り入れた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・地域の世代間交流と住民の交流の場を広げること、地域の音楽活動の基盤づくりにつなげることを目標とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

○（1）の達成度について自己分析

- ・アンケート結果を見ると交流会は好評であった。企画はいきセンが主導ではあったが、プログラムの内容は地域の方の意見を取り入れたことで、地域の音楽活動の基盤づくりを進められたと考える。

○アンケート結果などから

- ・「大変よかったです。盆おどりしたいです。」「本日は初めてよし笛の練習に参加させて頂きまして、皆さんにお会い出来てうれしかったです。」「江州音頭はみんなが参加出来てよかったです。」など、アンケート結果からは好評であったことがうかがえ、参加者全員が交流できた。
- ・予定されていた夏祭りは開催中止となり、取り組みの成果を披露する機会がなかったのは残念である。
- ・よし笛の体験では、よし笛サークルの方が積極的に参加されサークル活動の活性化の一助になり、地域の音楽活動の基盤づくりの面では効果があったと考える。

4 今後の抱負

- ・出演者と参加予定者にヒアリングをし、双方の希望に応えられる形式をとった。交流会の内容は出演者・参加者の課題を解決するものとなった。本事業のような進め方をする事業を増やしていきたい。
- ・結果的に幅広い世代が参加できたとは言えず、内容について改善したい。
- ・Facebook に練習会や事業のことを投稿したところ、盆踊りのファンサイトに日程が掲載され、練習会と事業の当日に桂や大阪からの参加者があった。テーマによってはネットやSNSでの拡散が期待でき、活用をしていきたい。

事業風景の写真

練習会



交流会



【事業名】世代間交流事業 取組① 音楽交流会2（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和6年1月20日（土）13時～14時30分
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター 第一会議室
- 3 参加人数： 21名
- 4 協力団体等：山ノ本児童館、あおに よし笛サークル
- 5 予算： 3,000円 / 決算： 4,664円

1 事業内容

よし笛サークルと打ち合わせを行い、プログラムの内容を決め実施した。当日の司会進行はサークルが行い、いきセンは会場設営などサポートに回った。

プログラム：山ノ本児童館児童によるダンス / 音楽演奏 / 紙芝居（よし笛サークルのメンバーによる朗読） / 音楽演奏 / 懇親会

○評価委員会から指摘された事項が

- ・市民活動支援の取組が求められる。

2 準備段階での工夫

- ・事業のきっかけは、よし笛サークルから、「メンバーを増やしたい。」「発表の機会がない。」との相談を受けたことにある。そこで、よし笛サークルといきセンとで打ち合わせを繰り返してプログラムを作成し、広報についてはいきセンが担当した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- ・サークル活動の活性化を図ることを目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・事業後、よし笛サークルのメンバーが増えたと聞く。また、歌声サロン（事業③健康長寿チャレンジ事業取組①）の中で演奏を披露されるようになり発表の場が増えるなど、よし笛サークルの目標は一定程度達成できたと思われる。
- ・アンケートからは、「楽しかった。『時代』の歌良かったです。」「紙芝居に感動した。」との声があり、交流会の内容については好評であった。

4 今後の抱負

- ・サークル活動の支援として行ったところ、結果は良好であった。他にも支援が必要なサークルがあれば、同様の支援を試みたい。

事業風景の写真



【事業名】世代間交流事業 取組② いきセン利用者交流会（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年12月9日（土）13時～15時
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター 第一会議室
- 3 参加人数： 18名
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算： 14,000円 / 決算： 13,073円

1 事業内容

- ・いきセンを利用しているサークル11団体（健康体操、カラオケ同好会、麻雀教室、フラワー教室、絵てがみ教室、造形教室、陶芸教室、木・土卓球、卓球サークル、よし笛の会、抹茶サークル）が参加し、互いの活動内容について発表する。
- ・参加する団体で実行委員会を組織し、順番や内容について打ち合わせを行う。
- ・交流会では、各サークル団体の代表が順番に発表を行い、最後は抹茶サークルによるお茶会形式の懇親会を行う。

2 準備段階での工夫

- ・参加するサークルで実行委員会を作り、司会進行や交流会の内容について決めていった。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・いきセンサークル団体と地域住民を対象に、世代間交流の場を広げることを目指す。
- ・いきセンの利用者および地域住民のいきセンの利用を広げる。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・参加者はいきセンの利用者のみで、利用されていない方の参加がなかった。
- ・アンケートでは、「楽しかったです。」「これからも活動できる場所として、みんなで協力していきたいです。」「どんな会があるのか、よくわかりました。」との声が聞かれ、好評であった。

4 今後の抱負

- ・参加されたサークル団体の多くはメンバーを募集されていたが、当日しか呼びかけることができなかった。交流会の発表内容を広く知らせることで、サークル団体の活動の活性化ができると思われる。そのための手立てについて検討したい。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

2. サロン運営・活用事業

※サロン運営・活用事業はアンケートをしていない。

【事業名】ふれあい事業 取組① 脳トレーニング（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：第2月曜日 脳トレーニング(12回) 第4月曜日 爽やか体操(12回)
いずれも 10時～11時
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター サロン、本館2階旧図書室
- 3 参加人数：98人/年(脳トレーニング43人、爽やか体操55人)
- 4 協力団体等：京都市南区地域介護予防推進センター
- 5 予算： 29,000円 / 決算： 48,000円

1 事業内容

①HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシ等を活用して募集する。

②脳トレーニングとして月2回実施。1回は脳トレーニング、もう1回は爽やか体操として取り組む。京都市南区地域介護予防推進センターと連携し、講師は健康運動指導士。実施日によって講師は変わる。

脳トレーニングは間違い探しや計算問題など、爽やか体操は下肢を中心とした筋力トレーニングと整理体操。爽やか体操を取り入れたのは、参加者の間では体操の人气が高く、体操の機会を増やしたいと考えたため。

○評価委員会から指摘された事項

- ・事業内容が高齢者向けに偏っている。

2 準備段階での工夫

- ・参加者の当日の体調を聞き、異常の有無を確認してから開始する。
- ・いきセンは関連機関との調整や連絡、活動のサポートにあたる。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・心身の機能向上を目指し、リフレッシュ効果と健康生活の向上を図る。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・脳トレーニングや爽やか体操を通じて生活リズムが整い、健康生活を維持する効果が保たれた。昨年度から継続して参加されている方もあり、休まず参加したいとの声が聞かれる。
- ・アンケートはとっていないが、体操は人气が高く、年度の途中から健康体操（事業③健康長寿チャレンジ事業取組②）の参加者も参加されるようになり、事業間の相乗効果が見られた。

4 今後の抱負

- ・昨年度に比べて参加者は増えたが（80人）、全体的に少人数であった。時間・曜日の設定に原因があったと思われる。
- ・推進センターの方針が変更になり、従来の講師による脳トレーニングの形式を続けることができなくなったため、事業は本年度までとした。

事業風景の写真



【事業名】ふれあい事業 取組② サタデーカラオケサロン&日曜カラオケ（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：サタデーカラオケサロン 毎週土曜日(48回)、日曜カラオケ 第1,3日曜日(24回) いずれも10時30分～12時30分、13時30分～15時30分の2部制
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数：374人/年(サタデーカラオケサロン370人、日曜カラオケ4人)
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算： 78,520円 / 決算： 91,000円

1 事業内容

幅広い多世代が交流し、地域住民の連帯感・絆を広げる。また、心身のリフレッシュ効果を目指し健康生活の向上を図る。

- ①HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシ等を活用して募集する。
- ②実施時間帯を午前と午後に分けた2部制とする。
- ③世話役を中心に運営を進める。いきセンは危機管理とアクシデント対応を役割とする。

○評価委員会から指摘された事項

- ・企画運営における双方向性、利用者・団体側の自発性。

2 準備段階での工夫

- ・サタデーカラオケサロンの運営は世話役を中心とし、活動の内容や会費などを決め進めた。
- ・Facebookに活動の様子を写真や動画で投稿し、参加しやすい雰囲気づくりを心掛けた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・カラオケを楽しみながら仲間を増やし、地域交流を広げ、参加者の健康生活を向上させることを目標とした。
- ・世話役を中心とした自走化したサークル活動となるようにサポートすることとした。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・サタデーカラオケサロンの運営は世話役が中心となり、会の約束事や会費200円の徴収、忘年会の企画、実行など積極的に活動されている。
- ・アンケートはしていない。地域の方の居場所、交流の場になっており、コロナで来られてなかった方も再び参加されるようになり、交流の輪が広がっている。

4 今後の抱負

- ・サタデーカラオケサロンは世話役を中心に自走化した活動をされるようになった。
- ・日曜カラオケの参加者は少なく、いきセン内で周知をしたが改善できなかった。

事業風景の写真



【事業名】ふれあい事業 取組③ マージャン交流（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：毎月2回 第3月,木曜日(10月からは毎月3回 第1月曜日と第3月,木曜日)
10時～16時
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター 本館2階旧学習室、サロン
- 3 参加人数： 306人/年
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算： 144,000円 / 決算： 60,000円

1 事業内容

幅広い多世代が交流し、地域住民の連帯感を広げる。また、心身のリフレッシュ効果を目指し健康生活の向上を目的とする。

- ①毎月2回、第3月・木曜日、10時～16時に実施。
- ②ルールや活動内容は世話役を中心にして決める。
- ③講師はなく、ゲームのルールは熟知している方が初心者に教える。
- ④参加者の希望により、10月からは毎月3回の実施とする。

○評価委員会から指摘された事項

- ・企画運営における双方向性、利用者・団体側の自発性。

2 準備段階での工夫

- ・前年度の初期は参加者が集まらず、自治連合会の末広会の会長に呼びかけの協力を仰いだ。今年度は参加される方々に主に協力を仰ぎ、参加者を募った。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・男女や年齢を問わず、マージャンに興味、関心のある方が集まり、親睦と交流を深める。
- ・講師に頼らず、世話役を中心とした自主的な運営を目指す。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・参加者間の話し合いの結果、昼休みをはさむ午前と午後の2部制としている。午前午後の両方に参加される方が多く、熱心に参加されている。
- ・ルールの設定や初心者への指導、企画運営も自主的に実践されてきている。

4 今後の抱負

- ・参加者は平均10.5名で3台の麻雀卓を使用しているが、サロンでは手狭になってきており、さらに人数が増えた場合のことを参加者と検討していきたい。
- ・いきセンから帰宅するのに2時間かかったので今後は参加しないという方があった。参加者の募集範囲について検討が必要である。

事業風景の写真



【事業名】ふれあい事業 取組④ ふれあい絵てがみ (サロン運営・活用事業)

事業の概要

- 1 開催日時：第 2,4 水曜日 13 時～15 時 年 23 回
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数： 116 人/年
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算： 125,000 円 / 決算： 35,000 円

1 事業内容

絵てがみの手作り作品の活動を通じて創造力、技能アップを目指し、自立的な活動を推進する。

- ①参加者は、HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシを活用して募集する。
- ②参加者の中から世話役を選び出し、活動方針、内容、教材、進め方等意見を出し合って進める。
- ③講師に頼らず、参加者が自主的に制作活動を進める。
- ④いきセンは、絵てがみの情報や絵の素材を探す活動をサポートする。

2 準備段階での工夫

- ・前年度からの継続事業で、参加者の募集には世話役の協力も仰いだ。
- ・講師がいないため、絵てがみを制作することの楽しさや嬉しさを参加者同士で生み出していか、また活動を続けていくために参加者同士がどのように協力するかを考えつつ進めていった。いきセンは、進め方についてや絵てがみの絵の素材を探す手伝いなどのサポートを行った。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

- ・絵てがみの制作を通じて創造力、技能アップを目指す。また、自立的な活動を推進する。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・毎回 1 人 1 作品を仕上げるなど、絵てがみの創作技能が上達された。
- ・完成した作品はいきセン内に掲示している。掲示の作業はいきセンが行っているが、一部の参加者が自主的に掲示場所を入れ替えるなどの作業を担われるようになった。

4 今後の抱負

- ・絵てがみの作品はいきセンの館内に掲示しており、いきセンの利用者からは興味を持って問合せがある。しかし、実際の参加には至らなかったもので、こういった方を取り込む工夫が必要である。

事業風景の写真



【事業名】ふれあい事業 取組⑤ 抹茶交流（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：第4月曜日 13時30分～15時 年12回
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数：35人/年
- 4 協力団体等：末広会抹茶サークル、上鳥羽女性会
- 5 予算： 17,000円 / 決算： 24,000円

1 事業内容

上鳥羽末広会抹茶サークルと上鳥羽女性会が連携して、地域の抹茶活動を盛り上げ、茶道の伝統や良さを地域に広める。

- ①参加者は、HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシを活用して募集する。
- ②毎月1回、世話役を中心として実施する。
- ③いきセンは活動日の連絡調整や相談事に対応する。
- ④会費は1回500円。

2 準備段階での工夫

- ・実施日の参加人数によって準備物（茶や茶菓子など）が変わるので、活動がスムーズに進むように世話役との連絡調整を行った。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・世話役から参加者を増やしたいとの要望があり、参加者を増やすことを目標とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・前年度からの参加者の中に途中で参加されなくなった方があり、年度の始めに比べ参加者は減となった。新規参加者を募集するため、世話役がいきセン利用者交流会（事業④取組②）へ参加するなどされたが、参加者数を回復することはできなかった。
- ・いきセン内に配架したチラシを見て参加を希望される方があり、継続して参加されている。
- ・参加者の中にはスマホで稽古の様子を撮影するなど、学ぶことに積極的な方がいる。

4 今後の抱負

- ・世話役は、開始1時間前には来館し会の準備をされている。参加者の方も、数は少ないが活動を熱心に続けられており、必要に応じて支援を続けたい。

事業風景の写真



【事業名】ふれあい事業 取組⑥ 造形教室（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：第4日曜日 10時～正午 年12回
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数：52人/年
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算：135,000円 / 決算：142,000円

1 事業内容

俳句創作を通じて創造力、俳句の技能アップを目指し、伝統文化である俳句を若い世代に伝える。

①HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシで参加者を募集する。

②創作活動は次のように進める。

- 1.参加者は実施日が来るまでに各自俳句の構想を考え、メモやノートに書いて参加する。
- 2.講師と俳句の表現方法について相談し、詠んだ句を色紙に墨で表現する。
- 3.ちぎり絵や水彩画など絵を添えて完成させる。1回につき1作品の完成を目指す。

③作品は、館内や Facebook に掲示する。

2 準備段階での工夫

- ・いきセンで画材（色紙、筆、墨、ちぎり紙など）を準備し、必要があれば参加者が利用できるようにしておく。
- ・いきセンは講師との日程の調整や連絡、活動のサポートにあたる。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・参加者は、俳句を詠むこと、絵を描くことの技能アップを目指すこと。
- ・新しい参加者を増やすこと。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・どの参加者も1回に1作品を完成させることを目標に取り組まれている。ほとんどの方が完成させており、創作技能が向上されている。
- ・完成させられなかった作品は持ち帰り、後日持参されるなど、創作を楽しまれている。
- ・アンケートはしていないが、熱心な参加者からは「俳句を考えるのが楽しい」という声が聞かれる。
- ・参加者数はほぼ変わらず、高齢者のみの参加になっている。

4 今後の抱負

- ・前年度に比べて参加者を増えなかった。また、参加者が高齢者のみとなっており、若年層の参加がないので、参加者と相談し、手立てについて考えていきたいと思う。
- ・講師に頼らない創作の場として活動していくことができるか、参加者と考えていきたい。

事業風景の写真



【事業名】ふれあい事業 取組⑦ フラワー教室～花アトリエ講師育成実技講習会～（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：第2土曜日 10時～正午 年11回
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数：85人/年
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算： 242,000円 / 決算： 244,000円

1 事業内容

地域在住のフラワーデザイナーが後継者育成に向けて講習会を開催。受講者が講習会の成果を地域に広げていく。

- ①HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシで参加者を募集する。
- ②指導は講師が行う。いきセンは連絡調整や運営をサポートする。
- ③カリキュラムは第1ステップ（基礎）、第2ステップ（研究）、第3ステップ（師範）の3段階で、全33回の講習で師範資格の取得を目指す。5年度は第2ステップを行う。
- ④参加費は材料代（花代、花器含む）として1回3,300円を徴収する。

○評価委員会から指摘された事項

- ・講座型のスタイルにとどまっており、市民活動支援の取組が求められる。
- ・講師が固定化されている。

事業の目的をフラワーアレンジメントの後継者育成としており、専門性を必要としていることから、講師による講座型の事業になった。2年目である5年度も講座型となったが、参加者がフラワーアレンジメントのコンテストに出品するなど、講習会の成果を広く発信して事業の目標となる「成果を地域に広げる」ことを行いつつある。最終年となる6年度では、花材の選定を始めテーマ設定までを参加者自身が行うことを予定しており、より一層成果が広まると考えている。

2 準備段階での工夫

- ・いきセンは講師との連絡調整や相談、会場設営をサポートする。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・地域にフラワーデザイナーが少なく、フラワーアレンジメント制作に係われる人材の育成を図り、師範資格を取得することを目的として取り組む。
- ・参加者も事業の目的があるため、目標に向かって努力をされる効果が期待される。
- ・修了後、フラワーデザイナーの師範取得者が数名排出されることが予想され、地域にフラワー文化が広がっていくことが期待される。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・参加者からは、「フラワーアレンジメントは難しい、楽しい」という声がよく聞かれる。課題は徐々に難しいものになっており、毎回試行錯誤しながら制作に取り組んでおられる。
- ・参加者の中から、コンテストで入賞された方があり（日本フラワーデザイナー協会京都支部主催「第24回京都府立植物園フラワーデザインコンテスト」植物園園長賞）、成果の一つと思う。
- ・6年度から、新たにフラワーアレンジメントの教室が開催されている。フラワーアレンジメントの文化が地域に広がりつつあるのを感じられる。

4 今後の抱負

- ・次年度は最終の第3ステップの年になる。参加者にとっては師範資格取得に向けて更なる努力が必要となるが、いきセンとしては参加者が活動しやすいようフォローしていきたいと考える。

事業風景の写真



【事業名】ふれあい事業 取組⑧ ふれあい書道（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：毎週月曜日 10時～正午 年51回
- 2 開催場所：上鳥羽南部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数：135人/年
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算：163,000円 / 決算：125,000円

1 事業内容

- ①HP、Facebook、地域回覧板、ポスター、チラシで参加者を募集する。
- ②講師に頼らず、参加者が主体的に書道にチャレンジする。教材や進め方、練習方法は参加者と相談しながら進める。手本などの資料は、いきセンにある模範作品や書籍、インターネットなどを活用する。
- ③いきセンは支援、サポート役として参加する。
- ④習字道具は参加者が各自用意する。

2 準備段階での工夫

- ・いきセンには書道の資料として手本があり、参加者の希望があれば活用している。
- ・書の練習の際には新聞紙を利用されており、いきセンの古紙も活用している。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・書道の技能アップを目指し、書道の魅力を地域に発信すること。
- ・活動を通じ自ら学ぼうとする自立意識を育み、生涯学習に役立てること。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・いきセンにある難しい手本に挑戦される方もあり、技能アップに積極的になられている。
- ・他の事業（事業⑤ふれあい事業取組③造形教室）の参加者で書の上達を望まれる方や、他所で書道の講師として活躍されている方が講師としてではなく一参加者として書を楽しみたいということで参加される方があったりと、書道の広がりを感じられる。

4 今後の抱負

- ・館内のチラシを見て参加を希望される方があったが、講師はいないことを告げると参加を見送られる。いきセンから地域回覧板などに参加者募集を働きかけても参加者増とならなかったのは、このことが影響していたと思う。
- ・地域の交流の場となっており、自立的な活動を続けられている。サークル活動とはなるが必要に応じて支援を続けたい。

事業風景の写真



3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1	利用料金の収入実績							
	令和5年度実績：532,500円（前年度比 121% 令和4年度実績：441,200円）							
	<table border="0"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">内訳</td> <td>会議室等：532,500円</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;"></td> <td>付属設備：0円 ※自主事業分を除く</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;"></td> <td>スモールオフィス：0円</td> </tr> </table>	内訳	会議室等：532,500円	}		付属設備：0円 ※自主事業分を除く		スモールオフィス：0円
内訳	会議室等：532,500円	}						
	付属設備：0円 ※自主事業分を除く							
	スモールオフィス：0円							
2	管理運営に係る経費の収支決算							
	別紙収支決算書のとおり							

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

9事業（上鳥羽六斎念仏発表会、勉強会 1,2、世代を超えた音楽交流会、音楽交流会 2、卓球交流会 1,2、健康実践交流 1、いきセン利用者交流会）について、下記の設問にてアンケートを実施した。値は9事業の平均値（設問 1,3,4 については、3段階で評価）。

設問1 事業の感想（満足度）

設問2 どこで知りましたか

設問3 内容

設問4 センターの対応

設問5 年代

設問6 自由記載

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
49.8%	48.1%	0.9%	0%	1.2%

(2) センター独自アンケート

設問1 事業の感想（満足度）

	満足	普通	不満	未記入
平均	78%	11%	0%	11%

設問2 どこで知りましたか

	センター	チラシ	知人	新聞	HP	その他
平均	55%	12.2%	27.5%	0%	1.6%	3.7%

設問3 内容

	満足	普通	不満	未記入
平均	87.1%	11.9%	0%	1%

設問4 センターの対応

	満足	普通	不満	未記入
平均	89.1%	10.3%	0%	0.6%

設問5 年代

	80代以上	70代	60代	50代	40代	30代	20代	10代以下	未記入
平均	19.2%	44.2%	14.1%	8.8%	4.2%	4.9%	1.6%	1.9%	1.1%

設問6 自由記載

○世代を超えた音楽交流会

- ・大変よかったです。盆おどりしたいです。
- ・交流会のことをもっとアピールすれば良いのになあと思いました。当日、センターの入り口（門の所）にポスターとかチラシを貼ると目立つのかな？

○卓球交流会 1,2

- ・楽しくプレーさせていただきました。運営もスムーズで楽しかったです。
- ・他のサークルから、練習に参加したいとの申し出があった。

○上鳥羽橋上鉦講中（上鳥羽六斎念仏）～継承と発展～発表会、勉強会

- ・知らずにタイコを続けるのと知って続けるのでは大きなちがいだと思いました。おっちゃん（※上鳥羽橋上鉦講中の蜘蛛の巣作成者）が地道な作業でいを作ってくださいっていてとても感動しました。
- ・質疑応答が非常に良かった。特に音楽の先生の指摘と Diversity の話。
- ・9月に六斎念仏の実演（※発表会）を拝見したので興味を持ちました。これからは現地で見学したいと思います。ありがとうございました。

○健康実践交流1

- ・ゲームに振り回されない様に管理（時間、内容）するのは、大人でも難しい。でも、できる事をやるしかない様に思いました。
- ・参加する人が少ない様に思います。もっと大々的にやれば良いと思う。

○いきセン利用者交流会

- ・これからも活動できる場所として、みんなで協力していきたいです。
- ・どんな会があるのか、よくわかりました。

○音楽交流会 2

- ・初めての参加でしたけどとても楽しかった今回の集まりでした。
- ・今回は特に M さんの年齢と歌声、紙芝居に感動した。私も前向きに行動しようと努力します。

○卓球交流会 2

- ・いろいろな人と、いろいろな事（技）をおしえてもらって良かったです。
- ・みんなで交流すると、いろいろ勉強になるといつも思います。

3 意見等への主な対応状況

利用者からの要望や希望に対して次のように対応した。

- ・“マーじゃん交流 “参加者から

Q. 初心者を対象にした時間を作りたいので、活動日を増やすことはできないか。

A. 月 2 回の実施ですが、月 3 回に増やすことは可能です。

- ・“世代を超えた音楽交流会” のアンケートより

Q. (事業)の当日、センターの入り口（門の所）にポスターとかチラシを貼ると目立つのかな？

A. 従来は、事業のチラシを拡大コピーしてセンターの壁に貼ったりして来館者にお知らせをしていた。しかし、センターの敷地内に入らないと目にすることはできなかった。指摘を受けて、立て看板をセンターの入り口に立てかけたり、外周の柵にチラシを掲示したりと、センターの前の往来を通る人たちにもアピールするようにした。

- ・全センター共通窓口サービス調査より

Q. 場所がわかりにくい。近隣の表示がわかりにくい。

A. センターの周辺には所在を示すものがなかったので、センター名およびセンター周辺の地図をセンターの外柵に掲示した。

Q. もっと活動を知らせて欲しい。

A. 事業の実施予定日の月間カレンダーを作成し、玄関等に配架した。

Q. 電話の音量が小さく、聴き取りづらいときがある。

A. 電話機の設定で“送話音量”を大きくした。また、受話器の持ち方で送話音量が変わることがわかり、職員間で受話器の持ち方を注意するようにした。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

○取り組んだ事業等の総括

- ・市民活動支援・活性化事業において、講座型のスタイルと指摘されていた事業を見直した。昨年度の音楽交流会は、センターが主体となって企画、調整などを行っていた。「世代間交流事業 取組① 世代を超えた音楽交流会」では、音楽サークルとセンター利用者にヒアリングし、双方で希望があったことからマッチングする形になった。「世代間交流事業 取組① 音楽交流会 2」では、音楽サークルが主体となり交流会の内容の企画、プログラム作成などを行い、センターは出演者同士の打ち合わせの調整やチラシ制作などサポートする役回りとした。

健康実践交流1では、参加者全員が参加して話し合いをするワークショップの形式とした。いずれもセンターとしては従来とは違った試みであり、同様の取り組みを行いたい。

- ・上鳥羽六斎念仏は3回実施した。2年目の取り組みで勉強会は講座型となったが、参加者は京都市内から広く集まった。後日、この事業の参加者の中から出演依頼があり、公演を行ったと聞く（国際文化政策研究交流集会【次世代に繋ぐ文化資本と地域づくりの展望】）。当事業がきっかけとなり、活動の広がりを生んだと思われる。
- ・サロン運営活用事業については、自走化に至ったと思われる事業がいくつかあったため、サークル活動に移行した。5年度から継続している事業については、参加者の交流の場としてつつ自走化へ向けていきたいと考えている。
- ・情報発信の点については、まだまだ足りていないと感じている。5年度は、ネットで検索して来館された新規利用者が数組あった。事業の実施についても、センターが把握していないところで情報が拡散されていたりした。利用者を増やすには情報発信が効果的と痛感している。HPやジモティだけでなく、X等のSNSも効果的に利用していきたい。

○今後、解決すべき課題等

- ・評価委員会からの主に三点の指摘事項（講座制の事業を減らす事、参加者との双方向の取組を考える事、講師の固定化を減らしていく事）について、今後も改善していく。

○次年度に向けた対応

- ・5年度と同様に事業によってはサークル活動に移行できるように支援し、また、参加者が主体となる事業の取り組みを進めていく。取り組みを進めるにあたってはセンターだけでは力不足であるため、まちづくりアドバイザーとも相談していきたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

○施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項
特になし。

○年間事業計画にある事業の中で、実施できなかった事業

- ・事業② 上鳥羽あんしんあんぜんまちづくり事業～水害事例から学ぶ～ 取組① 水害学習
京都市立上鳥羽小学校と連携し、三学期に5年生の総合学習の際に行う予定であった。
三学期に入りインフルエンザと新型コロナによる学級閉鎖が3回行われた。そのため、通常
の授業時間を確保することが難しい状況になり、事業（水害学習）を実施する時間も確保
することが困難となったため。令和6年度については、小学校と相談したところ小学校の
独自の取り組みとして実施することが可能との声をいただき、実施を見送ることとした。

- ・事業③ 健康長寿チャレンジ事業 取組③ 健康実践交流
年2回開催のところを、2回目の実施を中止した。本事業について前事業担当者からの
引継ぎが十分でなく、講師の選定や確保といった事業実施のための体制が整わなかった。
そのため事業の実施が困難となったため。事業の実施については、事業のテーマが専門知
識を必要とし講座型にならざるを得ないと判断し、実施を見送ることとした。

京都市上鳥羽南部 いきいき市民活動センター
 指定管理料等に関する収支決算書（令和5年度分）

指定管理者名 株式会社丸起

代表者名 藤木輝幸

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		11,234,000	11,234,000	0
利用料金収入		412,020	532,500	120,480
	会議室等		532,500	532,500
	スモールオフィス			0
	付属設備（自主事業を除く）			0
その他収入	光熱水費分担金			0
	個別事業参加費			0
				0
当期収入合計		11,646,020	11,766,500	120,480
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		6,632,000	7,980,463	▲ 1,348,463
	職員4名		6,582,505	▲ 6,582,505
	非常勤職員2名		334,830	▲ 334,830
	法定福利費		740,368	▲ 740,368
	福利厚生費		322,760	▲ 322,760
光熱水費		1,200,000	824,185	375,815
	電気代		668,126	▲ 668,126
	ガス代		23,087	▲ 23,087
	水道代		132,972	▲ 132,972
施設管理費		546,000	894,000	▲ 348,000
	樹木剪定		385,000	▲ 385,000
	定期清掃等		300,000	▲ 300,000
	機械警備		105,600	▲ 105,600
	消防保守点検		48,400	▲ 48,400
	E V保守点検		0	0
	空調保守点検		0	0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検		0	0
	自家用電気工作物		0	0
	雑用水用給水設備		0	0
	建築設備点検		55,000	▲ 55,000
	空気環境測定等		0	0
事務費		500,000	1,333,990	▲ 833,990
	電話代		163,876	▲ 163,876
	事務用品		278,987	▲ 278,987
	雑費		0	0
	センター運営費		245,647	▲ 245,647
	ホームページ費		151,800	▲ 151,800
	カラオケリース費		198,000	▲ 198,000
	空調機器リース費		295,680	▲ 295,680

修繕費	0	370,260	▲ 370,260
入口扉修繕		355,960	▲ 355,960
外灯修繕		14,300	▲ 14,300
			0
備品購入費（5万円以上の物品）			0
			0
			0
租税公課			0
			0
その他	0	14,380	▲ 14,380
賠償責任保険保険料	0	14,380	▲ 14,380
			0
施設運營業務支出合計	8,878,000	11,417,278	▲ 2,539,278
2. 事業実施業務			
市民活動支援・活性化事業費	1,257,000	599,737	657,263
上鳥羽橋上鉦講中「上鳥羽六斎念仏」～継承と発展～	360,000	139,000	221,000
上鳥羽あんしんあんぜんまちづくり事業～水害事例から学ぶ～	33,000	0	33,000
歌声サロン	288,000	288,000	0
健康体操	293,000	52,000	241,000
健康実践交流	86,000	13,000	73,000
卓球交流会	7,000	7,000	0
音楽交流会	166,000	87,664	78,336
いきセン利用者交流会	24,000	13,073	10,927
サロン運営・活用事業費	933,520	769,000	164,520
脳トレーニング	29,000	48,000	▲ 19,000
サタデニカラオケサロン&日曜カラオケ	78,520	91,000	▲ 12,480
マーじゃん交流	144,000	60,000	84,000
ふれあい絵てがみ	125,000	35,000	90,000
抹茶交流	17,000	24,000	▲ 7,000
造形教室	135,000	142,000	▲ 7,000
フラワー教室	242,000	244,000	▲ 2,000
ふれあい書道	163,000	125,000	38,000
その他 事業実施業務繰越	0	0	0
事業実施業務支出合計	2,190,520	1,368,737	821,783
当期支出合計	11,068,520	12,786,015	▲ 1,717,495
当期収支差額	577,500	▲ 1,019,515	▲ 1,597,015

令和5年度 事業報告書
久世いきいき市民活動センター

【指定管理者：地域環境整備みどりの会】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 4 名（常勤 2 非常勤 3）

【人材育成の取組】

定期的に職員全体ミーティングを行い、運営の質を向上させる。

(2) 貸館等

利用件数

(月別)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
33	20	26	27	25	32	25	38	47	23	25	35

(年間)

356 件（前年度比 16%増）

利用状況

- ・ 昨年よりは少し件数が増した。
- ・ 継続ではないが新規利用もあり、他地域の利用もあった。

利用促進に向けた取組（設備の改善）

- ・ 鏡の設置
ダンスでの利用者の要望に応え、第3会議室に鏡を設置した。
- ・ ブラインドの更新
会議室のブラインドが老朽化に劣化していたため更新した。

(3) 情報発信等

取組実績

- ・ SNS（旧 Twitter）発信に力を入れた。
- ・ 地域の方や高齢者の方にはチラシの配布をして回った。

取組の効果

- ・ まだ目に見えた効果はないが、引き続き注力していく。

(4) 管理運営

- ・ 職員全員で業務開始前に目視で点検し、センター前の落ち葉等の清掃を実地。

(5) その他

- ・ まちづくりアドバイザーや南区で活動されている方（ミナミクラボ）の意見も聞き、交流会等にも参加するなどして、新規利用増加に繋げたい。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】クリスマス会（自主事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023年12月13日（水）10時30分～11時30分
- 2 開催場所： 久世いきいき市民活動センター 会議室1・2
- 3 参加人数： 32組 70名
- 4 協力団体等： 久世保育所・久世児童館・久世西児童館・かみふうせん文庫
- 5 予算： 46,200円 / 決算： 46,200円

1 事業内容

- ・パネルシアター
- ・手遊び・歌
- ・サンタクロース登場（記念撮影）

2 準備段階での工夫

チラシを取りに来られたり、お手洗いの利用をされた方にも声をかけたりするなどして、利用者の増加に取り組んだ。

今年はまちづくりアドバイザーの方にも参加していただき、改善点や、助言などもいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

他地域にも認知度は少しずつ上がっているので、事業以外でもセンターを利用していただけのように努める。

(2) 事業実施による目標の達成度

他地域から来ていただけることは満足している。

そこからの繋がりがもう少しできるように努力したい。

○ アンケート結果

- ・今年も楽しかった・また参加したい等の意見をたくさんいただいた。

パイプ椅子の置き場所や、後方の荷物置き場（机）、パネルシアター中に前方へ出てくる子どもたちの対策等を改善し、来年度に向けて準備していく。

4 今後の抱負

もう少し人数を増やすか検討中。シートや椅子の位置（パイプ椅子の変更も検討中）の改善点もあるので

小さい子ども達が怪我無く、最後まで楽しめるように色々と準備し、継続していく。

事業風景の写真



3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：506,900円（前年度比137.1%）

〔内訳 会議室等：506,900円
付属設備：0円 ※自主事業分を除く
スモールオフィス：0円〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
71.9%	28.1%	0%	0%	0%

(2) センター独自アンケート

・不満の声はなく、概ね満足と回答していただいた。

3 意見等への主な対応状況

・おおむね満足との回答であったが、より使いやすい施設となるよう会議室に鏡を設置するなどした。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。
 - ・ 今年もクリスマス会を実施。昨年より参加数を増やしたが満員になった。まちづくりアドバイザーの方も参加していただいた。概ね満足。貸館業務についても、新規利用が増えて継続していただいている。
- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。
 - ・ 高齢者むけの自主事業について検討中。
ちらし等の配布場所を増やして認知度を高めて新規利用に繋げる。
SNS 発信も怠らず行う。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

○ 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

例) 重大な事故やコンプライアンス違反等があった場合は、その概要、改善策等を記載

例) 年間事業計画にある事業の中で、実施できなかった事業があった場合は、その事業の名称及び内容、実施できなかった理由、中止した事業の取扱い（翌年度（令和6年度）に実施するのか、しないのか。）等を簡潔に記載

京都市久世いきいき市民活動センター

指定管理料等に関する収支決算書（令和5年度分）

指定管理者名 地域環境整備みどりの会

代表者名 作岡貞二

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		12,667,390	12,667,390	0
会館利用料等		350,000	506,900	156,900
その他 収入	預金利息		41	41
	自主事業参加費		0	0
	光熱水費分担金			0
	自動販売機電気料	0	41	41
当期収入合計		13,017,390	13,174,331	156,982
【支出の部】				
人件費		7,320,960	6,826,540	494,420
	常勤職員1名	4,552,560	4,440,000	112,560
	非常勤3名	2,125,200	1,682,950	442,250
	社会保険料等	643,200	703,590	▲ 60,390
	委託料	0	0	0
光熱水費		1,190,119	1,074,866	115,253
	電気代	846,772	768,728	78,044
	ガス代	68,347	23,295	45,052
	水道代	275,000	282,843	▲ 7,843
施設管理費		2,002,070	2,479,865	▲ 477,795
	樹木剪定	150,000	924,000	▲ 774,000
	定期清掃等	981,750	948,665	33,085
	機械警備	179,520	184,800	▲ 5,280
	消防保守点検	88,000	171,600	▲ 83,600
	建築設備点検	132,000	0	132,000
	空調保守点検	220,000	0	220,000
	雑用水用給水設備	0	0	0
	空気環境測定等	0	0	0
	廃棄物回収	250,800	250,800	0
事務費		672,753	934,485	▲ 261,732
	電話代	141,386	237,199	▲ 95,813
	コピー代	24,163	60,792	▲ 36,629
	ホームページ管理料	132,000	132,000	0
	その他	375,204	504,494	▲ 129,290

修繕費	531,488	1,306,360	▲ 774,872
空調機設備点検等	267,488	0	267,488
ミラー工事	0	297,000	▲ 297,000
ブラインド施工工事	0	990,000	▲ 990,000
誘導灯修繕	132,000	0	132,000
換気扇取替	132,000	19,360	112,640
自主事業費	0	0	0
		0	0
			0
			0
備品購入費（5万円以上の物品）		0	0
その他		0	0
			0
			0
租税公課	700,000	1,803	698,197
法人税・住民税	200,000	1,803	198,197
消費税等	500,000	0	500,000
		0	0
その他	600,000	667,926	▲ 67,926
		0	0
NHK受信料他	600,000	667,926	▲ 67,926
			0
当期支出合計	13,017,390	13,291,845	▲ 274,455
当期収支差額	0	▲ 117,514	▲ 117,514

令和5年度 事業報告書 醍醐いきいき市民活動センター

【指定管理者：株式会社ワン・ワールド】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 6 名（常勤 2 名、非常勤 5 名）

【人材育成の取組】

・5 年度は、学生アルバイトにも経験を積ませるため「だいき de ワイワイ井戸端会議」ではファシリテーターとして運営に関わらせた。他にも、企画やチラシの作成など、様々な事業に関わることで、他者とのコミュニケーションの取り方など、実践で身に着くよう考慮した。

また、花園大学、大谷大学、京都橘大学などの授業の一環で、学生のフィールドワーク先として受け入れを行い、学生さんの実践の場としてもいきセンを活用してもらった。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
82	95	75	79	83	78	82	89	86	70	83	86

(年間)

988 件（前年度比 89%）

イ 利用状況

○ 平日、土日に関わらず、会議室や和室は短時間（1～2 時間）利用のサークルが多く、高齢者のサークルが多い。（詩吟、音楽系、朗読など）

集会室は 2～3 時間利用のダンス系、空手など子どもから若い世代の方の利用が多い。

○ 日曜日、水曜日、金曜日の利用が少ないので、増やしていきたい。

ウ 利用促進に向けた取組

○ 5 年度も近隣の無料で利用できる施設に移動されたサークルもあったが、新たな利用団体もあった。積極的に SNS で発信をしたり、近隣の商業施設にはチラシやポスターの設置を依頼した。活動発表の場として毎年開催している「だいきいきフェスティバル」を近隣の商業施設のアトリウムにて開催し、より広くサークル活動を周知した。

エ その他

○ サロンの利用者は 1,612 名で、前年とほぼ同数。（前年度 1,611 名）

サロンで事業を実施したことで、より広く周知できた。

ほぼ毎日来られる高齢者や、子連れで立ち寄られた方は、おもちゃで遊んだり、昼食を一緒に食べたりされていた。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- ホームページ、Facebook、twitter、Instagram、LINE など SNS で情報を発信。Facebook、Instagram は、ほぼ毎日、twitter でも積極的に発信している。ネット環境が整っていない高齢者層にも届くよう、リーフレットやチラシ、広報誌など紙媒体による情報発信も行った。
- 近隣の商業施設でもチラシやポスターでの情報発信を行っている。中でもイズミヤ六地蔵店においては、展示スペースの空きが出るたびに、醍醐いきセンコーナーとして場所を提供していただいた。

イ 取組の効果

- イズミヤの展示コーナーでチラシを見たという問合せが多く、実際に社交ダンスや楽器演奏サークルのメンバーが増えた。
事業参加者においては、チラシや SNS を見て参加したとの声が多かった。

(4) 管理運営

- 建築設備、消防設備の保守管理等を実施。

(5) その他

- 施設運営においては、改善すべき点やいろんなアイデアがあるときは、スタッフ会議で協議するほか、コミュニケーションツールを用いてスタッフ間で共有している。
- 市民活動支援・活性化事業「だいが未来プロジェクト」の中の「だいが de ワイワイ井戸端会議」「だいがゆめプレゼンテーション」では、地域と繋がりを求めている保育所・大学・図書館・高齢者施設・社会福祉協議会・図書館・区役所支所などと、地域で活動したい方を繋げることで、新たな活動が生まれるきっかけとなった。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】 だいが未来プロジェクト（市民活動支援・活性化事業）

- ①ふらっと相談 café
- ②だいが de ワイワイ井戸端会議
- ③だいがゆめプレゼンテーション
- ④醍醐いきいきフェスティバル 2024
- ⑤DAIGO オールスター！大感謝祭
- ⑥だいがゆめもり夏祭り
- ⑦だいがゆめもり冬祭り

事業の概要

1 開催日時：

- ① 令和5年5月17日、6月19日、7月24日、8月21日、9月25日、10月16日、11月20日、11月20日、令和6年1月15日、2月26日、3月18日各13時～15時
- ② 令和5年6月24日（土）、令和6年1月13日（土）各13時30分～16時
- ③ 令和5年7月22日（土）、令和6年2月10日（土）13時30分～15時30分
- ④ 令和5年12月10日（日）13時～15時
- ⑤ 令和6年3月12日（日）13時～15時
- ⑥ 令和5年8月11日（日）16時～20時
- ⑦ 令和6年1月22日（日）11時～13時

2 開催場所：

- ① 京都市だいが学園 café&shop ふらっと
- ② 醍醐いきいき市民活動センター集会室
- ③ 醍醐いきいき市民活動センター集会室及びサロン
- ④ パセオ・ダイゴロー「アトリウム」
- ⑤ 醍醐いきいき市民活動センター集会室
- ⑥ 醍醐いきいき市民活動センター及び友愛ひろば
- ⑦ 社会福祉法人同和園

3 参加人数：

- ① 各回3～8名延べ35名
- ② 令和5年6月24日13名、令和6年1月13日17名
- ③ 令和5年7月22日14名、令和6年2月10日9名
- ④ 約250名
- ⑤ 17名
- ⑥ 450名
- ⑦ 500名

4 協力団体等：

詳細は下記①～⑥の中に記述あり

5 予算： 2,179,750 円 / 決算： 2,143,096 円

①ふらっと相談 café

1 事業内容

- ・地域で何か始めたい方や地域に興味を持っておられる方などが、当センターのスタッフやまちづくりアドバイザーに気軽にお話や相談ができる場を提供。
- ・ボランティアの方によるギター演奏。

2 準備段階での工夫

- ・社会福祉法人京都身体障害者福祉センター京都市だいが学園に場所の提供をしてもらう。
- ・会場である「café&shop ふらっと」においては、他のお客様の迷惑にならないよう実施した。ボランティアの方にギターの演奏をしてもらい、なごやかな雰囲気づくりをすることで、相談に来ることへのハードルを下げた。
- ・京都市まちづくりアドバイザーの方にまちづくりの相談員として同席いただき、福祉の相談については、京都市だいが学園に対応してもらった。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

雑談や日常会話の中で、気になることや関心事が明確になり、活動に興味を持つことができる。些細なことでも市民活動であるということに気付くきっかけとなる。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・café&shop ふらっとを会場にしたことにより、まちづくりに関する相談の敷居を低くすることが出来、気軽に来てもらうことが出来た。
- ・区民活動支援事業の相談があり、助言したことにより地域に根付いた活動へと広がった。
- ・気軽に来てもらえることで、地域での困りごとや活動の種を何気ない会話から見つけることが出来た。

参加者の反応

- ・気軽に相談できる場所があって良かった。
- ・ここの雰囲気とスタッフの方達が好きでお話に来ている。
- ・ボランティアのギター演奏も楽しみ。

4 今後の抱負

- ・他のお客様が居るので、店が混雑しているときは席を占拠しないようにと気をつけていたので、満席の時などはスタッフを最小限にして開催した。
- ・地域の方とのふれあいの場、地域の方が気軽集える場として、今後も継続していきたい。

5 協力団体

- ・社会福祉法人京都身体障害者福祉センター京都市だいが学園
- ・京都市まちづくりアドバイザー

事業風景の写真

ふらっと
相談Cafe

申込不要
参加無料
(飲食代実費)

毎月 第3月曜日
休日の場合、翌週の月曜日
13:00~15:00
場所：西条市市民活動センター1F
「Cafe&Shopふらっと」

わたしたちと一緒にしませんか？
まっぴらアドバイザーの資格を
取得し就業する機会も生かされています

14時~14時30分
セミナー実施とさせていただきます

TEL 075-571-0625
FAX 075-571-5224



②だいでワイワイ井戸端会議

1 事業内容

・地域で活動中の方、地域での活動に興味を持っている方、これから始めたいことがある方などが自由に話せる場として開催。「集まれ！伏見・醍醐こども食堂」「集まれ！学生のチカラ」というテーマで話題提供者からの話を聞いて、それぞれのテーマから「だいの未来」について語り合い、自分たちがやってみたいことを話し合った。その後交流タイムを設けた。

2 準備段階での工夫

参加者の層が分かっていたこともあり、活動の第一歩を踏み出すきっかけとなるような繋がりが出来るようにグループ分けを工夫した。「集まれこども食堂」では花園大学の学生が授業の一環でテーブルのファシリテーターとして入ってもらい、スタッフは全体のフォローが出来たので意見が出やすい雰囲気となった。「学生のチカラ」では京都産業大学の学生団体「=エスカフェ（イコールエスカフェ）」にコーヒーとお菓子を提供してもらい、カフェで話すような和やかな雰囲気で行なえた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

潜在的な活動層が、専門家や活動家から活動のノウハウを学び体験談を聞くことで、活動への関心や意欲が高まる。

(2) 事業実施による目標の達成度

・地域で活動している方や活動を始めたい方に専門家や活動家からそれぞれの話を聞くことで、活動の意欲を引き出し具体的な次の一步に繋がった。

・多世代の参加により新たな繋がりができた。

・新たな活動団体が生まれ、活動拠点としていきセンを利用することで貸館へと繋がった。

【具体的な活動へ発展したもの】

・醍醐のこども食堂のネットワークが無かったので当センターと山科青少年活動センターが主体となりこども食堂のネットワークを構築した。

・学生のチカラでは、他大学との交流が深まり、当センターが協力しているこども食堂のボランティアとしての参加や、ゆめプレゼンテーションへの参加のきっかけとなった。

4 今後の抱負

・2023年度で3年目を迎え定期的に参加してくれる層が増えた。市民の方だけでなく様々な施設の方の参加が増えてきたので今後も引き続き事業として続けながら、繋がった機関と連携をもって開催していきたい。

5 協力団体

・京都花園大学・山科青少年活動センター・京都市まちづくりアドバイザー

事業風景の写真

醍醐 de ワイワイ井戸端会議～集まれ！伏見・醍醐のこども食堂

大行進！無言のうちにみんながまじりあがりつくりだす

ワイワイ井戸端会議 あつまれ!!

【お申し込み】
京都市左区
いせいき市庁舎活動センター
〒601-1245
京都市左区醍醐藤原山町1-1-1
☎ 075-571-0036
FAX 075-573-5224
TEL 075-571-0035

【お申し込み - お問合せ】
京都市左区
いせいき市庁舎活動センター
〒601-1245
京都市左区醍醐藤原山町1-1-1
☎ 075-571-0036
FAX 075-573-5224
TEL 075-571-0035



事業風景の写真

醍醐 de ワイワイ井戸端会議～集まれ！学生のチカラ。

集まれ、学生のチカラ。
— 学生が活躍の場になる —

醍醐で学生が活躍の場を創り、交流を深め、
出会いと学びの場にもなるように
どうやらいいだろう。さあ
一緒に遊んで、楽しもう！

**対象
年齢**

令和6年 **1月13日** (土)
13:30～15:30

会場：醍醐いそいそ市民活動センター 第1会議室
定員：30名(要申込、先着順)
対象：高校生、大学生、一般(どなたでも)

持ち寄りメニュー
①(例) 和食、洋食、デザート、飲み物
②(例) 和食、洋食、デザート、飲み物、デザート
③(例) 和食、洋食、デザート、飲み物

申込みはコチラ
「醍醐」の電報局で
お申し込みください。
申込み受付は1月10日(木)まで

和食、洋食、デザート、飲み物、デザート
和食、洋食、デザート、飲み物、デザート
和食、洋食、デザート、飲み物、デザート

お申し込み・お問い合わせ

五條市の組織
いそいそ市民活動センター
〒671-2241
和歌山県和歌山市醍醐2-1-1
☎ 075-571-0035
FAX 075-579-6224
相談時間：月～土 10時～17時
学校説明会

醍醐いそいそ市民活動センター
〒671-2241
和歌山県和歌山市醍醐2-1-1
☎ 075-571-0035
FAX 075-579-6224
相談時間：月～土 10時～17時
学校説明会

醍醐いそいそ市民活動センター
〒671-2241
和歌山県和歌山市醍醐2-1-1
☎ 075-571-0035
FAX 075-579-6224
相談時間：月～土 10時～17時
学校説明会

醍醐いそいそ市民活動センター
〒671-2241
和歌山県和歌山市醍醐2-1-1
☎ 075-571-0035
FAX 075-579-6224
相談時間：月～土 10時～17時
学校説明会



⑤だいがゆめプレゼンテーション

1 事業内容

「だいが de ワイワイ井戸端会議」や醍醐支所との連携事業「まちづくりプレイヤー養成講座」の参加者の中で、具体的にやりたいことが固まってきた方がプレゼンを行う。当センターの利用者や事業に主体的に関わる方、地域の商店や施設など地域の方が参加しプレゼンターを応援する。またそれぞれが繋がるマッチングの場として実施。

2 準備段階での工夫

市民活動を始めたい方、すでに始めているが活動を広げたい地域に住む子育て中のママ、折り紙を使い交流する場所を作りたい折り紙伝道師、子育て世代の集まる場を作りたい方、気軽に不動産の相談ができる場を作りたい方に、自身が地域でやってみたい活動をプレゼンしてもらおう。

事前にスライドを準備してもらい、参加者にわかりやすく活動内容を知ってもらうことができた。花園大学の学生にファシリテーターとして参加してもらいスムーズに進行できた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

いろいろな立場の方と交流することで、自身の活動において刺激となり、新たな活動が生まれて地域が活性化していく。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・プレゼンターとサポーターがつながり新たな活動が生まれた。
- ・制度のはざまで困りごとを抱えている方の情報共有の場として「はざまカフェ」の協力者が増え、いきセンを拠点に活動が広がった。
- ・プレゼンターのスキルを仕事として依頼したいとのことで新たな雇用が生まれた。
- ・当センター利用のサークルさんと連携して、活動を始められた。

参加者の反応

- ・話を聞くだけでなく参加型だったので交流が活発だった。
- ・社会課題にとっても前向きで、明るく活動している人たちに出会えて楽しくワクワクした。
- ・沢山の意見がいただけて良かった。

4 今後の抱負

・前年度に行ってから周知されていき話したいという方が増えてきたので、十分にヒアリングをしたうえでプレゼンターを選出していきたい。参加者同士の交流や今後の協力態勢などを見ていて、これから生まれる活動が、地域に根付いた活動になるようサポートしていきたい。

5 協力団体

- ・京都花園大学・京都市まちづくりアドバイザー

事業風景の写真

だいがゆめプレゼンテーション 令和5年7月22日

私が生涯のまちづくり！
だいがゆめプレゼンテーション
新卒の先輩がノウハウをみんなでお話ししませんか？
一緒に、希望のまちを盛り上げましょう！

日時
令和5年7月22日(土) 13:30-15:30

場所
醍醐いきいき市民活動センター

対象：どなたでも
定員：20名(先着順・要申込)
希望のテーマは？「みんなでお話し合いたい」
「自分のまちを盛り上げたい」が理想のテーマ！

参加費：無料

参加のきっかけ
- 未経験、資格、未経験、シングル事業...、様々な
経験があれば誰でも参加できる人の職場づくりがしたい！
- 若い縁を築いて世代交代の輪を作りたい！

【お申込み・お問い合わせ】
京都府醍醐
いきいき市民活動センター
〒601-1245
醍醐社会福祉協議会 社会福祉部21-221
☎ 075-571-0035
FAX 075-573-8224
受付時間 月～土10時～21時
休 日 日・祝日・17時
お問い合わせ

参加の申し込みまでの手順
1. 申し込み(7月17日～21日)
2. 申し込みの受付(7月21日～22日)
3. 申し込みの受付(7月22日)
4. 申し込みの受付(7月22日)

お問い合わせ先
社会福祉協議会 社会福祉部21-221
〒601-1245 醍醐社会福祉協議会 社会福祉部21-221
TEL: 075-571-0035 FAX: 075-573-8224

京都市



事業風景の写真

だいがゆめプレゼンテーション 令和6年2月10日

私が主役のまちづくり!
だいがゆめのプレゼンテーション
私のスキルを磨いて活かしたい!
あなたのアイデア募集します!

日時 2024 2/10(土)
13:30-16:30 開場13:00-

場所 飯沼いまい市市民活動センター

対象 誰でも参加可
参加費:無料
定員:20名(小学生-中学生)

内容 当日スケジュール
13:30 開場-定員になり次第は、多人数参加は、
14:00 質疑-休憩(飲み物・お菓子) カフェ・アット
16:30 閉場-16時30分以降は、お茶会あり

お問い合わせ先
飯沼いまい市市民活動センター
〒601-1202
京都府伏見区飯沼町1-1-1
TEL 075-571-0035
FAX 075-573-6224
営業時間 月-土 10時-17時
日 12時-17時
年末年始休業

飯沼いまいまでの地図



④醍醐いきいきフェスティバル 2023

1 事業内容

醍醐いきセンで活動しているサークルの活動発表会。10年ぶりに外部の商業施設での開催を行う。いきセンの事業として活動をしている「はざまカフェ」に乳幼児向けのプレイコーナー・折り紙コーナー・子育て相談窓口を、京都橋大学生による子どもの遊びブースを設置してもらう。

2 準備段階での工夫

10年ぶりに外部の商業施設で行うので発表者の方にスムーズに発表してもらうために、事前打ち合わせとリハーサルをしっかりと行った。会場も京都橋大学の学生スタッフに装飾してもらい華やかな雰囲気で行った。当日プログラムにサークルの紹介を入れ、新たなサークルの参加者の募集を行った。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

いろいろな立場の方と交流することで、自身の活動において刺激となり、新たなサークルが生まれて活性化していく。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・10年ぶりに醍醐いきセン以外で発表会を行った。9組のサークルが出演し、普段の練習の成果を発揮できる場所を提供することが出来た。
- ・プログラムにサークルの広報を載せ、新規のメンバー加入につながった。
- ・発表会練習のために、練習時間が増え、結果貸館稼働率が増加した。
- ・様々なブース出店を行なったので、多くの参加者が足を止めて楽しんでもらった。
- ・いきセンを知らない層に周知することができた。

参加者の反応

- ・思っていたよりもお客さんが多く、多くの人にサークルを知ってもらえた。
- ・会場がすごく盛り上がって、すごく楽しかったです。
- ・みんなでわいわいとやりとげることが出来たのが嬉しかった！

4 今後の抱負

- ・事前のリハーサル時間が取れなかったなので、今後はリハーサル時間も入れたスケジュールを組みたい。
- ・音響の確認をする時間も無かったので事前に準備をしっかりと行う。
- ・発表者だけでなく観覧者も楽しんでいたので、今後も行いたい。
- ・会場での音量の規制が厳しいので、6年度は近隣の商業施設で開催する予定。

5 協力団体

- ・京都橋大学・はざまカフェ・京都市だいが学園

⑤DAIGO オールスター！大感謝祭

1 実施内容

醍醐いきセンの事業に関わった様々な方との交流会。事業振り返り動画や、参加賞授与等。後半の参加者同士の交流時間では、近隣の施設（醍醐中央図書館等）の施設紹介ブースを設けた。また地域で活動している介護士と理学療法士の方のマッサージブースも設置。

2 準備段階での工夫

- ・近隣の施設紹介として、京都市醍醐中央図書館にブースを設置してもらった。
- ・「はざまカフェ」事業紹介ブースを設置し活動の賛同者を募った。
- ・地域の介護士と理学療法士によるクイックマッサージブースを設置し、参加者に体験してもらった。
- ・1年間の事業を動画にし、参加者に簡潔に分かりやすく紹介した。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

いろいろな立場の方と交流することで、自身の活動において刺激となり、新たな活動が生まれて地域が活性化していく。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・普段繋がりが無い、いきセンの事業関係者同士、活動家同士が交流する機会を持つことにより、地域課題解決のための新たな事業計画が生まれた。
- ・醍醐いきセンのファンサークルによる (Daigo Design Labo) 歌やダンスを参加者に楽しんでもらえた。
- ・醍醐を盛り上げたいと醍醐で活動する男性4名がアイドルグループを立ち上げお披露目会を行い、子どもも大人も楽しんで参加できた。

参加者の反応

- ・醍醐をよくしていくために様々な活動をしている方に出会えてよかった。
- ・交流時間では他の施設が知れた。
- ・いきセンではいろいろな事をしているのが知れて良かった。

改善・課題等

- ・準備期間が短く広報があまりできなかったのと、しみセンの事業や他のイベントの日程とかぶってしまったので、事前に日程変更を考えてもよかった。
- ・定期的にこのような交流の場を設けることにより地域活性化を図れるので今後も続けていきたい。

5 協力団体

- ・京都橘大学・はざまカフェ・京都市だいが学園

DAIGO オールスター！大感謝祭



今年1年
ありがとう
ございました

DAIGO
オールスター！

京都市

春の
大感謝祭！

感謝の心一年のあひび

当日券
3/10
日
13:00-15:00

お祝い
お楽しみ
グッズあり
グッズ出店
あり

今年度は誠にセンに御わってくれた
全ての方に感謝を込めてイベント開催します！
応えての方も大感謝！！

会場 船場いさぎよし市民活動センター
定員 20名（要申込・先着順）
料金 無料（お茶・お菓子付）

【お申込み・お問合せ】
京都市船場
いさぎよし市民活動センター
〒601-1346
京都市船場区船場利根通571-271
☎ 075-571-0035
FAX 075-573-5224
開催日時 3月10日（日）13:00～15:00
対象者 市民

会場：船場いさぎよし市民活動センター
（船場地区、船場公民館、フェリス）
お茶：船場いさぎよし市民活動センター
お菓子：船場いさぎよし市民活動センター
会場：船場いさぎよし市民活動センター

申し込みの
詳細はこちら



⑥だいがゆめもり夏まつり

1 事業内容

醍醐いきセン、みらい食堂（体験型子ども食堂）、京都橘大学が「だいがゆめもり夏まつり実行委員会」を立ち上げて開催した夏祭り。醍醐いきセン、友愛ひろばを会場として飲食ブースやゲームコーナーなどを設けた。

2 準備段階での工夫

ご飯ブースは子ども食堂、ゲームコーナー（無料）は京都橘大学が担当し多くの子どもたちに喜んでもらえた。

オープニングは岩屋太鼓の会さんが担当し多くの方に楽しんでもらえた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

コロナ禍で地域学区の夏祭りがなくなり、地域住民同士の交流する機会が失われるなか、地域住民が一同に集まる事業をすることで住民の孤独を防ぐ。またいきセンに地域の方が足を運んでいただくきっかけにもなり、知ってもらうことで貸館利用につながる。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・いきセンを知らなかった方が多数来られ、センターを周知する良いきっかけになった。
- ・様々な団体のボランティアの方が来られ、新たな繋がりが出来た。また協力団体の社会活動の受け入れ場として貴重な体験をしてもらえた。

参加者の反応

- ・コロナで祭りが全てなくなっていたのでここまで大きなお祭りは久しぶりで楽しかった。
- ・ゲームコーナーなど子どもが喜んで参加した。
- ・子ども食堂の出している屋台が美味しい。

4 今後の抱負

初めて開催したが、思っている以上に参加者が多くスタッフの人数が足りていなかった。次回行うなら手伝いたいとの声も多く、今後は町内会や他団体と連携し開催したい。

5 協力団体

- ・食を通じた文化体験プロジェクト実行委員会（みらい食堂）
- ・京都橘大学「学まちチャレンジ！プロジェクト」醍醐いきいき市民活動センターチーム
- ・岩屋太鼓の会
- ・深草こども食堂
- ・京都ダルク

だいがゆめもり夏祭り



⑦だいがゆめもり冬まつり

1 事業内容

醍醐いきセン、みらい食堂（体験型子ども食堂）、社会福祉法人同和園が「丘の上フェスティバル実行委員会」を立ち上げて開催。餅つき大会や祭りを開催。福祉施設による物販や、飲食ブースなどを設けた。最後はビンゴ大会をし、地域の子どもたちに参加してもらった。

2 準備段階での工夫

協力団体が多かったので、連絡をスムーズに行うために各団体の代表のみで打ち合わせを行い、それぞれで共有して日数の無いなか無駄なく本番を迎えられた。

会場が同和園だったので、いきセンのチラシを持っていき広報できた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

今までいきセンを利用したことのない層に直接センターのアプローチをする機会を作り、足を運んでもらう一歩目を作る。

これまで連携のなかった施設やコロナ渦に関係が希薄になったところとも繋がりを再構築する。

(2) 事業実施による目標の達成度

・普段醍醐いきセンでは中々利用の無い山科・小野の地域の方に醍醐いきセンを周知することが出来た。

・様々な福祉事業者の方が来られ、新たな繋がりが出来た。コロナ渦で連絡の途絶えていた施設や団体さんと直接顔を合わせることができ次年度の事業に繋げることができた。

参加者の反応

- ・本格的なお餅つきができて嬉しかった。
- ・醍醐いきセンを初めて知った。遊びに行ってみたい。

4 今後の抱負

・初めての企画で準備のスケジュールがうまくいかずぶっつけ本番になってしまった。次回からはもう少し早く計画し準備期間をしっかりと設ける。

5 協力団体

・食を通じた文化体験プロジェクト実行委員会（みらい食堂）・深草こども食堂・京都ダルク
・京都醍醐北郵便局・社会福祉法人ヤマト福祉会宝生苑・社会福祉法人京都老人福祉協会
ワークパートナーYUI・あったかファミリー運動・たのしい家醍醐・三笑堂・深草子ども食堂・京都市醍醐北部地域包括支援センター・井戸端ステーション・ぐり〜んデイサービス醍醐・京都市だいが学園・はざまカフェ・At-kyoto・清水台幼稚園・アトリエ TONTON・POLA Lei SaLon・つばさクラブ少年団

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】サロン甦りプロジェクト（サロン運営・活用事業）

① だいき情報局

② 文化サロンづくり「みんなのアトリエ」

(A ビブラボ B 図書館との連携 C はざまカフェ)

事業の概要

1 開催日時：

①令和5年4月～令和6年3月

②A. 令和5年6月17日（土）、7月15日（土）、8月12日（土）、9月9日（土）

10月14日（土）、11月4日（土）、12月9日（土）、

令和6年1月27日（土）、2月24日（土） 計9回 各回14時～16時

B. 令和5年6月29日（木）、令和5年8月4日（金）、令和5年11月16日（木）

各回10時30分～11時30分

C. 令和5年5月29日（月）10時～12時

令和6年2月14日（水）、令和6年3月13日（水）10時30分～13時

2 開催場所：①、②ともサロン「おさない」（②B

3 参加人数：①1,611名 ②A.計85名 B.計36名 C.計7名

4 協力団体等：①京都市伏見区社会福祉協議会醍醐分室、春日丘センター

②A. チームビブラボ（ビブリオバトル普及委員会の理事と普及委員及び大学生向けフリーペーパー制作団体 moco 代表（当時）で結成した団体）

B. 醍醐中央図書館、辰巳保育所

5 予算： 2,429,900円 / 決算： 2,418,262円

① だいき情報局

1 事業内容

社協発行の「醍醐ふれあい・支え合いマップ」や学生が作成したフリーペーパーなどを設置。地域の高齢者施設「春日丘センター」の利用者が製作した手作り作品を展示した。

また親子連れのお散歩スポットや遊べるスペースとして解放した。

2 準備段階での工夫

春日丘センターは近隣の施設であり、日常からセンターのスタッフとコミュニケーションをとっているため、毎回スムーズに展示することができた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

「醍醐ふれあい・支え合いマップ」を活用した「醍醐ふれあいトレジャーウォーキング」の参加受付場所や休息場所としてサロンを利用してもらうことでサロンの地域での認知度を高める。また近くにある高齢者施設の利用者の手作り作品を展示することで、地域間交流を図ることを目標にした。

(2) 事業実施による目的の達成度

○健康ウォーキングの参加者の休憩場所や親子連れのお散歩スポットとして、サロンを利用してもらったが、年間を通しての継続的な利用には至らなかった。

○春日丘センターの利用者からは、作品をサロンに飾り、みんなに見てもらえて嬉しいとの声をいただいた。

4 今後の抱負

今後も引き続き、地域の方や近隣の高齢者施設の利用者の手作り作品を定期的にサロンに展示して、相互の交流を行っていききたい。

事業風景の写真



②A.ビブラボ

1 事業内容

本が生み出すつながりを楽しむ実験室のような場を、月1回トピックを設定して開催した。毎月のトピックは以下のとおり。

(第1回)：ビブリオバトル (※)

(第2回)：テーブルゲーム

(第3回)：銭湯×ビブリオバトル (営業前の辰巳浴場)

(第4回)：カタン (ボードゲーム)

(第5回)：マードーミステリー

(第6回)：ボードゲーム×国際交流 (日本語話者と外国語話者が一緒に行く)

(第7回)：ビブリオバトル

(第8回)：OSHIERU (ジャンルを問わず参加者が「推し」ていることをプレゼンし、参加者が投票してその中で一番の「推し」を決めるもの)

(第9回)：ビブリオバトル

※ビブリオバトルとは、お気に入りの本を5分間で紹介し、一番読みたくなった本に投票するコミュニケーションゲーム。

2 準備段階での工夫

毎月の開催について、企画内容 (トピック決め) の検討をチームビブラボと一緒にいった。また、チラシの作成についてはチームビブラボが行った。

チームビブラボが毎月開催後に詳細な「ビブラボ開催レポート」を作成してnote (SNS) で発信した。いきセンはそのnoteをいきセンのフェイスブックにリンクさせ発信を行った。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

参加者が本を使ってコミュニケーションをはかり、参加者同士の新たなつながりを生み出すことを目的とする。またそのつながりの中からサークル活動や市民活動の種を見つける。

(2) 事業実施による目的の達成度

○ビブラボの実施により、本を媒介にして参加者が繋がり、深い交流が図られた。

○参加者の反応

「ボードゲームは初心者でも国を超えて盛り上がることができ、とても楽しかった。」

「他の方の本や発表を通して視野が広がり、他の方の世界観に触れることができた。」

○事業に対する客観的な評価

チームビブラボの活動が、結果としていきセンのサークル活動につながらなかったが、以下の3点の理由により、事業としては成功したと考えている。

- ・参加者の世界が広がり、参加者が多角的な視点を持つことができた。
- ・ボードゲームを行うことによって、多世代交流や国際交流が図られた。
- ・サロン事業の運営の一端を1年間チームビブラボが担った。

②B. 図書館との連携

1 事業内容

①「絵本の読み聞かせと交流会」

図書館司書による読み聞かせとおすすめ絵本の紹介（絵本をサロンで展示）

②「自由研究の本を見ながら、工作をしよう！」

図書館司書による読み聞かせと自由研究の本の紹介（本をサロンに展示）

③「大人のための絵本紹介と読み聞かせの会」

図書館司書による読み聞かせと絵本の紹介

2 準備段階での工夫

3回の事業すべてに協力いただいた醍醐中央図書館の意向を最大限尊重するように心がけた。辰巳保育所については、いきセンに隣接しており日頃から交流をはかっているため、協力依頼をスムーズに行うことができた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

いきセンが醍醐中央図書館および辰巳保育所と連携して親子向けに絵本の読み聞かせを行うことにより、地域の子育てを支援する。

(2) 事業実施による目標の達成度

○絵本の読み聞かせについては幼児向け、小学生向け、高齢者向けにそれぞれ1回行った。3回目に行った高齢者向けの絵本の読み聞かせについては、地域にお住まいの高齢者に絵本の楽しさに触れる場をつくったことが、参加者の方に大変喜ばれた。また、幼児向けに絵本、小学生向けには自由研究の本の展示をそれぞれサロンで行ったが、実際の利用者（閲覧者）は、ほとんどいなかった。全体的に見ると、目標の達成度は60%ぐらいと考えている。

○参加者の反応

「保育所の子どもたちが刺激になりました。」

「読み聞かせの機会は大人もストーリーに引き込まれます。」

「なかなかよかったので、またやってほしいと思います。」

○事業に対する客観的な評価

全体的に目標の達成度は60%ぐらいだった。したがって、今後の事業を考えるにあたっては対象（幼児・子ども向けなのか、高齢者向けなのか）を絞った取組みが必要だと考えている。

4 今後の抱負

令和6年度については、地域の図書館と連携することにより、高齢者向けに絵本の読み聞かせなどを行い、高齢者の孤立を防ぐ取組みを行いたい。



絵本の読み聞かせと交流会

図書館司書による読み聞かせとおすすめの絵本の紹介

醍醐いきいき市民活動センター 醍醐中央図書館（公民館併設）協力実施

令和5年
6月29日(木)
10:30~11:30

参加費：無料
 定 員：未就園児と保護者
 定 額：前15組（先着順・要予約あり）

開催場所：
 醍醐いきいき市民活動センター
 サロン「おいしい」



🕒 10:30~
 醍醐中央図書館子どもの本コンシェルジュの絵本紹介による絵本の紹介、読み聞かせ
 ＊醍醐の公民館併設の子ともたちも読み聞かせに参加します。

🕒 11:30
 絵本を読んだり、おもいでえんがし、自由におくちを遊ばせます。

おすすめ絵本は「おいしい」だけでなく図書館でも大人のおもいでえんがしにしている絵本（1日・少額）10:00~10:30

【お申込み・お問合せ】
京都市 醍醐区
 いきいき市民活動センター
 〒617-2245
 京都市醍醐区醍醐中央図書館212号
☎ 075-571-0035
 FAX: 075-573-5224
 開催時間 月～土 10時～11時
 日 11時～11時
 公民館併設

主催：醍醐中央図書館・いきいき市民活動センター
 協賛：醍醐区 醍醐中央図書館
 協賛：醍醐区 公民館併設
 協賛：醍醐区 公民館併設
 協賛：醍醐区 公民館併設

醍醐いきいきセンターまでの地図



醍醐駅の北は、公共英語学習センター併設ください。
 醍醐駅北口 徒歩5分
 醍醐区 醍醐中央図書館 公民館併設

②C.はざまカフェ

1 事業内容

① 制度のはざまにいて悩みを抱える方同士が意見交換や交流できる場を提供

② 「みんなでバレンタインチョコづくり」

未就学児の保護者を対象に手作りバレンタインチョコをつくりながら子育てのことについて参加者同士で情報交換や交流をする場を提供

③ 子育てサロン「笑みえる」および「ベビー&キッズ用品交換会」

4月より入園・入学を控えている保護者の方や、お子様の環境の変化に不安を抱えている保護者の方の悩みや気になることなど、気軽に子育ての相談ができる場を提供

2 準備段階での工夫

はざまカフェの活動を地域の方に認知していただくために、醍醐いきセンのイベント（「醍醐いきいきフェスティバル」12/10 実施）や地域の高齢者施設でのイベント（「丘の上のフェスティバル in 同和園」1/21 実施）に出展した。

3 事業実施による効果、目標等

（1）当初の事業効果、目標等

地域で子育てについて気軽におしゃべりして交流する場をつくる。

（2）事業実施による目標の達成度

○地域で子育てについて気軽におしゃべりして交流する活動を始めたが、少しずつ活動に賛同するメンバーが増えてきた。

○参加者の反応

- ・チラシを見て楽しみに参加した親子（5歳の女兒連れ）に大変喜んでもらった。
- ・醍醐近辺で子育てや高齢者の居場所づくりをしたいと思っている方が参加し、参加者同士で活発な話げできた。
- ・「ベビー&キッズ用品交換会」では、衣服ばかりでなく、おもちゃ、絵本も交換できればありがたいという声があった。

○事業について対する客観的な評価

この1年で「はざまカフェ」のメンバーが増えたことおよび3月に「ベビー&キッズ用品交換会」を開催して、参加者から貴重な意見を聞くことができたことが成果である。

4 今後の抱負

「はざまカフェ」のメンバーそれぞれがカフェにおいて対象とする年齢層が少し異なるが、それぞれのメンバーのやりたいことを重視して継続することを大切にしたい。

令和6年度については、醍醐いきセン周辺の保育所、幼稚園、小学校へ「はざまカフェ」の活動の周知に力を入れていきたい。



February event
はざまカフェ presents ランチ付き 参加費 1皿 300円

みんなでバレンタイン チョコづくり

「笑みえる」担当
池永も参加です！

2.14 Wed

未就学児さんの保護者さんを対象に
「楽しく」「簡単」に手作り
バレンタインチョコをつくりましょう*+
また、子育ての気になる事や悩みなど
同世代の子育てをしている方たちと共有し
ココロをリラックスさせてぜひお越し下さい。

OPEN.10:30 CLOSE.13:00 総経 さいき市民活動センター

アベノ小・中・高に子供向け
ご子守の部屋（アベノ）お貸しして
①ご参加ご希望日
②お名前(ニックネーム可)
③お子様選別の有無

ベビー&キッズ用品交換会
も同時開催します！
(13:00-14:00)

お問い合わせ
☆総経 さいき市民活動センター☆
TEL: 075-571-0035
Mail: hazama.dalpo@gmail.com

InstagramのDMでも
ご予約可能です

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：1,518,480円（前年度比90%）

〔内訳 会議室等：1,469,000円
付属設備：49,480円 ※自主事業分を除く〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
51%	47%	1%	0%	1%

(2) センター独自アンケート

○ 概ね満足

他の子ども食堂のことを知ることが出来て良かった、学生さんと繋がることのできて良かった等

3 意見等への主な対応状況

- 「どの職員さんももっと明るくハキハキとされる方が良い。(利用者とはれ違った時も…)」の声を受け、今一度、どのようなタイミングでも明るく元気な第一声が発せられるよう、スタッフ内で確認しあった。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

・貸館については、前年同様厳しい数字となっているが、市民活動支援事業やサロン事業から新たな活動につながるよう工夫を凝らして実施してきた。事業の参加者やいきセンと関わりのある方同士で6年度にサークルが立ち上がる予定。(コーラス、朗読)

既存の利用者が継続して活動できるよう、SNSでの発信に力を入れてきたが、6年度は更に効果的に発信できるよう努める。

・いきセン・しみセン合同研修会の開催のきっかけを作ることができた。この合同研修会をきっかけに交流が生まれたセンターと連携事業が出来るよう検討していく。

・まちづくりアドバイザーの協力のもと、伏見区役所醍醐支所との定例会での情報共有や意見交換も、地域活動や施設運営に欠かせない地域の現状を知ることができた。

・利用者の利便性を考えて、電話とオンラインでの仮予約を次年度から実施する予定。

・サロン事業においては、これまで以上に多様な利用者が増えるよう、事業を実施していく。その中から自立した活動が生まれるようにサポートをしていきたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

○ 特になし

京都市醍醐いきいき市民活動センター

指定管理料等に関する収支決算書（令和5年度分）

指定管理者名 株式会社ワン・ワールド

代表者名 山口 勝広

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		15,296,150	15,296,150	0
利用料金収入		3,041,800	1,518,480	▲ 1,523,320
	会議室等	3,000,000	1,469,000	▲ 1,531,000
	スモールオフィス			0
	付属設備（自主事業を除く）	41,800	49,480	7,680
その他収入	光熱水費分担金			0
	個別事業参加費 （サロン廻りプロジェクト）		35,500	35,500
	利用団体（みらい食堂） 光熱水費		31,536	31,536
	個別事業飲料代 （だいが未来プロジェクト）		31,150	31,150
	当期収入合計	18,337,950	16,912,816	▲ 1,425,134
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		9,900,000	9,025,468	874,532
	職員2名	4,800,000	4,795,420	4,580
	非常勤職員5名	3,300,000	3,005,808	294,192
	法定福利費	1,200,000	1,083,840	116,160
	福利厚生費	600,000	140,400	459,600
光熱水費		1,575,000	1,376,132	198,868
	電気代	1,380,000	1,222,161	157,839
	ガス代	120,000	91,451	28,549
	水道代	75,000	62,520	12,480
施設管理費		1,094,800	818,070	276,730
	樹木剪定	282,000	115,500	166,500
	定期清掃等	140,000	71,500	68,500
	機械警備	140,000	132,000	8,000
	消防保守点検	62,800	52,030	10,770
	E V保守点検	0	0	0
	空調保守点検	0	0	0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検	0	0	0
	自家用電気工作物	270,000	266,640	3,360
	雑用水用給水設備	0	0	0
	建築設備点検	100,000	88,000	12,000
	空気環境測定等	0	0	0
	廃棄物処理	100,000	92,400	7,600

事務費		840,500	913,215	▲ 72,715
	電話代	120,000	107,216	12,784
	事務用品	400,000	235,584	164,416
	雑費	320,500	570,415	▲ 249,915
修繕費		300,000	0	300,000
		300,000	0	300,000
		0	0	0
		0	0	0
備品購入費（5万円以上の物品）		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
租税公課		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
その他		18,000	17,680	320
	賠償責任保険料	18,000	17,680	320
		0	0	0
施設運營業務支出合計		13,728,300	12,150,565	1,577,735
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		2,179,750	2,143,096	36,654
	だいが未来プロジェクト	2,179,750	2,143,096	36,654
				0
				0
				0
				0
サロン運営・活用事業費		2,429,900	2,418,262	11,638
	サロン甦り	2,429,900	2,418,262	11,638
				0
				0
				0
その他	事業実施業務繰越			0
事業実施業務支出合計		4,609,650	4,561,358	48,292
当期支出合計		18,337,950	16,711,923	1,626,027
当期収支差額		0	200,893	200,893

令和5年度 事業報告書 伏見いきいき市民活動センター

【指定管理者:有限責任事業組合まちとごと総合研究所】

1 施設運營業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 8 名（常勤：1 名、非常勤：7 名）

【人材育成の取組】

- ・ 公共施設の運営、管理における基本的な業務については、OJT を行い、各スタッフが適切に業務を実施できるようにしています。
- ・ 全体での研修を通して、市民活動センターのスタッフとしての支援力向上やノウハウ共有などを行っています。
- ・ 定期的な面談を通して、各自のスキルアップやキャリア形成、ワークライフバランスを確認する機会をつくっています。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
279	270	266	296	277	284	284	273	244	249	277	270

(年間)

3269 件（前年度比 95%）

イ 利用状況

- ・ 昨年度 4 月、5 月、6 月は、利用料金 100 円時の申し込みが多くあり、3 ヶ月とも利用件数が 350 件以上でした。昨年度より減少した要因はその点にあります。
- ・ 12 月、1 月は開館日が少ないこともあり、他の月と比べる利用件数が落ち込みました。しかし、12 月、1 月以外の月ではおおよそ 270 件を維持した利用となりました。
- ・ 集会室は、平日の日中(13 時～17 時)での利用も増えてきており、利用を順調に伸ばしています。コロナで活動を休止されていた利用団体が今年度復活したことや新規団体が定着してきたことが理由としてあげられます。
- ・ 会議室 305、会議室 306 は、平日土日いずれも夜間利用が多くありました。一方で日中(13 時～17 時)の時間帯は空いていることもあり、利用促進をしていく必要があります。
- ・ 音楽室は、他の会議室に比べて価格を低めに設定していることもあり、利用が少しずつですが、増えています。価格に加えて、防音であることなど設備面も踏まえての宣伝を検討していきます。

ウ 利用促進に向けた取組

- ・ 館外の歩道に面している掲示板でセンターの貸館を紹介しました。どのようなお部屋があるかわかるよう、お部屋の写真を掲示するなどしました。実際に、「掲示板を見て来館した」や「通りすがりで気になって、問い合わせした」というように利用につながりました。

- ・webでの検索の際に、センターがヒットしやすいよういGoogle 広告を活用し、宣伝しました。

エ その他

サロン利用人数(述べ)：2916名(昨年度：2569名)

- ・新しい取り組みがスタートすることでサロンを訪れてくださる新規の利用者がいらっしゃいました。
- ・既存の取り組みにおいても新しくメンバー募集されることで取り組み自体のメンバーが増加しているケースもあります。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- ・SNS(Twitter、Facebook、Instagram)にて、事業の様子や貸館情報を定期的に発信しました。
- ・SNSにおいては、協力いただいた団体をタグづけすることでセンターだけでは届くことが難しい層への発信を行い、センターを知っていただく機会としました。加えて、センターに関連した投稿をしてくださった方には、いいねやコメントなどセンターからリアクションを返すことも心がけました。
- ・伏見区の市民活動を応援する助成金情報を発信しました。
- ・伏見区で魅力ある活動をされている個人や団体を掲載するWebマガジン「UTTOCO」を発行しました。昨年度は、空き地を活用して地域交流の場づくりを行う団体や子育て世帯を食事づくりの面からサポートするNPO法人などにインタビューを行いました。

イ 取組の効果

- ・webマガジン「UTTOCO」のインタビュー先の方が、センター主催イベントに参加してくださるなど、継続的な関係性を気づくことができました。
- ・事業と関わりのある方が、SNSでのシェアやコメントなどリアクションをしてくださいました。

(4) 管理運営

- ・法定点検としてある、消防用設備点検、空調保守点検、建築設備点検、定期清掃などは業者に依頼し、期日までに実施をしました。
- ・上記の法定点検以外にも、日常的に施設の維持管理をチェックシートをもとに定期的に行いました。
- ・防火管理者の選定、消防訓練など緊急時の対応を検討、訓練しました。
- ・その他、備品等の保守管理、保安警備業務等を実施しました。

(5) その他

- ・センター運営において気になる点や改善点があれば、スタッフ全員が出席する定例会議において全体で検討を行い、アイディア出しや提案を行いました。

- ・ 高校、大学などの教育機関と連携し、地域での学生の活動コーディネート（龍谷大学政策学部 Ryu-SEI GAP）や学校運営協議会への出席（京都府立京都すばる高等学校）を行いました。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】伏見の市民活動を生み出す支援プロジェクト

事業の概要

① 市民の学び・対話の場づくりと市民活動団体の創出

- 1 開催日時：2023年8月19日（土）13時～16時
2023年10月21日（土）13時～16時
2023年12月16日（土）13時～16時
2024年2月17日（土）13時～16時
- 2 開催場所：伏見いきいき市民活動センター
- 3 参加人数：述べ30名
- 4 協力団体等：ふしみNEXT(市民活動団体)
- 5 予算：885,000円／決算：883,015円

②新しいチャンスを生み出す支援プロジェクト

- 1 開催日時：2023年5月～2024年3月 [全10件]
- 2 開催場所：伏見区内の各活動団体の拠点
- 3 参加人数：10団体
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算：1,390,000円／決算：1,372,593円

1 事業内容

① 市民の学び・対話の場づくりと市民活動団体の創出

今年度は、伏見区で活動する市民活動団体「ふしみNEXT」と共に、対話の場づくりを行いました。「ふしみNEXT」は、もともと区役所主催の市民型ワークショップに参加していたメンバーが立ち上げたチームです。新型コロナウイルスの影響などもあり、市民が集まり、話し合う場が制限されたことから、自分たちでそのような場を提供できないかという思いから発足しました。センターでは、昨年度から「ふしみNEXT」の活動を支援しており、今年度はついに共同で対話の場を設けることとなりました。

各回では、伏見で活動するまたは活動したい人がプレゼンターとなり、それぞれの活動をプレゼンし、参加者同士で学びを深めました。第1回は「紙メディアを起点にまちや人とのつながりを生み出すには？」、第2回は「住民が中心となりつくる、まちの公園のこれから」、第3回は「地域で支える豊かな学び」、第4回は「高齢者が地域で孤立する事なく、暮らし続けるための取り組み」をテーマに実施しました。

② 新しいチャンスを生み出す支援プロジェクト

新型コロナウイルスによる影響でストップしていた地域イベントやシニア・子どもの居場所などの活動が本格的に元に戻りつつあります。そのなかで「久しぶりの開催のため、特別感を出したい」、「毎月の活動メニューを考えたいがアイデアに欠ける」といった地域のみなさんからの声をいただきます。

一方、センター利用団体のなかには、イベント中止により活動発表の機会を失った団体も少なくありません。実際の舞台がないことで、練習へのモチベーション低下やメンバー減少といった問題が生じている団体もあります。

そこで、活動メニューに悩む地域団体と活動の機会を求めるセンター利用団体を結び、新しいつながりを築く取り組みとして昨年度に続き、今年度も実施しました。昨年度の成果により、この取り組みが多くの方々に周知され、京都新聞などでの掲載効果もあり、多くのご相談をいただきました。

2 準備段階での工夫

① 市民の学び・対話の場づくりと市民活動団体の創出

主にチラシや SNS を活用して広報を行いました。今回は「ふしみ NEXT」との共同開催のため、メンバーのみなさんとも協力して広報を行いました。テーマに興味がありそうな方に声をかけたり、地域団体などに配布していただくなどセンターだけでは届かない層にも広報を行いました。当日の運営については、事前に複数回「ふしみ NEXT」と打ち合わせを行いました。

② 新しいチャンスを生み出す支援プロジェクト

地域団体と利用団体の顔合わせ兼打ち合わせでは、確認漏れや質問漏れがないかを意識しながら実施しました。多くの場合、1回の打ち合わせで本番を迎えるため、お互いの不安や疑問をこの段階で解消しておくことが重要です。また、イベントや居場所づくりを行っている方々のもとを訪れ、取り組みについて理解を深め、活用いただけるよう努めています。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

① 市民の学び・対話の場づくりと市民活動団体の創出

伏見区内で活動している人や活動したい人のプレゼンを通して、参加者が活動に参加したり、情報を収集したり、行動につながることを目指しました。また、プレゼンして終わりではなく活動経過報告の機会を設け、参加者も含めて活動を応援しているコミュニティを目指しました。

② 新しいチャンスを生み出す支援プロジェクト

定期的に居場所づくりを行う活動団体や地域で新しいイベントを開催する団体に対し、メニュー提供やゲスト探しを簡略化することで、実施のハードルを下げます。今年度は、地域行事が昨年度よりもさらに活発になる可能性があるため、自治会や町内会にも活用していただけるような展開を進めます。

(2) 事業実施による目標の達成度

① 市民の学び・対話の場づくりと市民活動団体の創出

地域での活動に興味や関心を持つ方や今後活動していきたいと考えている方と、実際の活動者をつなげる場を提供できました。しかし、アンケートの結果では、プレゼンターの活動に対して「参加してみたい」「興味がある」という回答が9割を占めましたが、実際に参加したという声は得られませんでした。参加者が行動に移すための具体的な手段を準備できておらず、参加に至らなかったと考えられます。

一方で、各回のテーマに興味を持ち、参加してくださった方もいらっしゃいました。「自分が日頃から感じている課題を話すことができ、さらに学びを得られた」、「さまざまな活動を主催している人と出会えたに出会えた」といった声がありました。日頃出会うことがない層との出会いにより、自身の学びや今後の活動に対する参考になることが感じられたようです。

② 新しいチャンスを生み出す支援プロジェクト

今年度は、12件のご相談をいただき、そのうち10件について支援をおこないました。具体的な事例としては、学区社協が主催するシニアの居場所や地域で行われる地蔵盆などが挙げられます。地域行事の再開にあたり、自らでは実施が難しい部分をセンターが利用団体をつなぎ、サポートを行いました。

また、昨年度から継続している事業であるため、昨年度は雨天により実施ができなかったケースについても、利用団体からの要望を受け、再度サポートし、実施することができました。

4 今後の抱負

① 市民の学び・対話の場づくりと市民活動団体の創出

上記にも記載したように、参加者が行動に移すための具体的な手段を準備できていなかったことが今後の課題となりました。また、各回のテーマにおいても今後検討していく必要があります。

② 新しいチャンスを生み出す支援プロジェクト

事業者主催のイベントへの依頼をいただくことは嬉しい反面、安価なサービスと見なされてしまうこともありました。おつなぎする際の連絡や相談は丁寧に行うことでミスマッチを防ぎます。加えて、改めて事業趣旨を理解いただけるように丁寧に説明していきます。

【事業名】 市民活動団体や地域団体の伴走支援プロジェクト

事業の概要

- 1 開催日時：2024年5月～2月
- 2 開催場所：伏見いきいき市民活動センター 会議室
活動団体拠点
- 3 参加人数：2団体
- 4 協力団体等：なし
- 5 予算：1,190,000円 / 決算：1,121,126円

1 事業内容

伏見区で活動する市民活動団体を対象に、半年間の伴走支援を実施しました。各団体の課題を詳細にヒアリングし、課題に対して解決の糸口となる専門家や同様の活動を行っている団体を招き、共に課題解決のためのアイデアを出し合う場を提供しました。その際、話し合いだけで終わらず、出たアイデアや意見を元に行動に移すためのサポートを行いました。

今年度は2団体の伴走支援を行いました。1つ目は、「tetoteto」という子育て世代のお母さんが中心となり、深草で空き地を活用した親子の居場所づくりを行っている団体です。この団体では、リーダーに役割が偏ってしまう課題がありました。そのため、メンバーの役割分担を明確化し、新たなメンバーの参加を促すための取り組みを行いました。

2つ目の団体は、「きょうのあそびば」という公園で子どもたちが自由に遊ぶことができるプレイパークを実施している団体です。活動期間が3年目となり、活動の幅を広げるために資金調達が課題と感じていました。そのため、クラウドファンディングの実践者でもある、資金調達のアドバイザーを招き、クラウドファンディングの成功ポイントや作成中の団体ページの添削を行いました。また、団体の認知度向上のためにSNSでの発信や広報物の作成、対面での寄付集めなどの具体的な取り組みを行いました。

2 準備段階での工夫

応募書類には、今回の応募理由が記載されていますが、そこでは表現しきれない思いや団体が気付いていない課題を掘り起こす作業をヒアリングを通して行いました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

団体だけでは解決が難しい課題に対して、専門家や先進的な活動を行っている団体からアドバイスや事例紹介などを行い、それを踏まえて団体に適した課題解決の方法を見つけます。また、実際に取り組み、効果を検討し、振り返りながら次の一步を考えていきます。

(2) 事業実施による目標の達成度

団体だけでは、地震の課題や困りごとを言語化する機会が少ないため、現状を把握することが難しいことがあります。今回の事業のように第三者(センターや専門家)が関わることで団体としての意見や課題を明確にすることができました。また、専門家からのアドバイスを通じて、団体が本質的な課題に気づき、具体的な行動に移すことができました。

「自分たちだけでは繋がるのが難しかった人とのつながりを作ることができ、新たな知見や関係性を構築することができました。今後の事業展開に役立てていきたい」という声がありました。さらに、「ファシリテーショングラフィックなど視覚的にまとめてもらうことで、団体の思いを再確認することができました」という声がありました。

4 今後の抱負

団体ごとに状況が異なるため、団体に応じた支援をさらに実施していきたい。また、単に1年間のサポートだけでなく、事業を通して築かれた関係性を大切に、アフターフォローも行っていきたいと考えています。

【事業名】多世代交流拠点きょういく基地プロジェクト

事業の概要

① シニアの得意や好きを活かす〇〇さんの日

- 開催日時：2023年5月～2024年2月
 - 健康まーじゃん塾：22回
 - 筋トレ体操：43回
 - コグニステップ(認知症予防)：11回
 - いきいき筋トレ(ロコステップ)：35回
 - ハンドメイドサロン：10回
 - 笑いヨガ：5回
 - ハワイアンリトミック：1回
- 開催場所：伏見いきいき市民活動センター サロン
- 参加人数：
 - 健康まーじゃん塾：述べ515名
 - 筋トレ体操：述べ547名
 - コグニステップ(認知症予防)：述べ102名
 - いきいき筋トレ(ロコステップ)：述べ510名
 - ハンドメイドサロン：述べ81名
 - 笑いヨガ：述べ54名
 - ハワイアンリトミック：14名
- 協力団体等：なし
- 予算：805,000円／決算：802,905円

② 子育て世代や子どもなど多様な世代への活動スタートアップ

- 開催日時：
 - にこにこルーム 2023年5月～2024年2月 [16回]
 - にこマルの日 2023年5月～2024年2月： [6回]
- 開催場所：伏見いきいき市民活動センター サロン
- 参加人数：
 - にこにこルーム：述べ59組 156人(子ども83人、大人73人)
 - にこマルの日：述べ56組 161人(子ども97人、大人64人)
- 協力団体等：なし
- 予算：480,000円／決算：478,390円

1 事業内容

① シニアの得意や好きを活かす〇〇さんの日

今年度もシニアの得意や好きを活かして、活動のはじめの一步を踏み出す取り組みとして、「〇〇さんの日」を実施しました。さらなる活動の進化を図るために、各取り組みのリーダーに集ってもらい、リーダー会議を開催しました。その中で、来年度以降の体制変更の呼びかけ、支援を行いました。その結果、ほぼ全ての団体のリーダーが交代し、新しい取り組みが追加され、変化を生み出すことができました。

今年度は、2名の新たな「〇〇さん」が誕生しました。1名は、これまでに音楽ケア体操などを不定期に実施していた方で、笑いヨガの定期開催に向けてサポートを行いました。回数を重ねるごとに参加者が増え、活動が定着し、来年度以降も継続して毎月開催する予定です。もう1名は、サロンで実施している「子育て」の事業においてサポートしている方で、子ども向けの内容をシニア向けにアレンジし、実施しました。こちらは、挑戦の機会を提供することを目的に1回のみ開催となりました。

② 子育て世代や子どもなど多様な世代への活動スタートアップ

昨年度に引き続き、未就学児親子の居場所づくり「にこにこルーム」を実施しました。今年度は、毎月第2、4土曜日を親子来館を促進する日とし、季節のものづくりや家ではできない遊びや体験などを実施しました。平均4組10人（子ども5人、大人5人）が来館し、スタッフとの会話や参加者同士の交流を楽しむ空間となりました。

また、子育て世代が自らの得意や好きを活かしながら活動を展開していくことを目指し、シニア層で実施している「〇〇さんの日」の子育て世代バージョン「にこマルの日」を実施しました。今年度は、3名のお母さんがそれぞれの得意や好きを活かした活動に挑戦しました。具体的には、「遊びのワークショップ」、「ハワイアンリトミック」、「子育て相談」が行われました。にこにこルームで一定の参加者が定着していたことから、開催日は、にこにこルームと同じ日に設定しました。

2 準備段階での工夫

① シニアの得意や好きを活かす〇〇さんの日

各取り組みのリーダー（〇〇さん）とのコミュニケーションを丁寧に行いました。日々の活動の様子だけでなく、活動中に生じた問題や困りごとについても相談いただけるような関係性を築くことを大切にしました。また、センターとして重視している事項や方針について、リーダー会議などで改めて共有し、サロンが共同でつくる場であることを再確認しました。

毎月の予定表を発行し、新しい取り組みが始まる際には積極的にシニアの方々に案内しました。一度参加してくださった方が口コミで広めてくださることが、伏見のサロンの強みとなっています。

② 子育て世代や子どもなど多様な世代への活動スタートアップ

3名のお母さんたちが活動に挑戦する際に、どのようなことをしたいと考えているかをヒアリングしました。そのなかで、センターとの共通点を確認し、実施しました。また、子育て世代に情報を届けるために、Instagramを活用した広報活動を行いました。その効果もあり、宇治市や城陽市など伏見区外から足を運んでくださる方もいました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

①シニアの得意や好きを活かす〇〇さんの日

シニアが今までのスキルや得意を活かして、主催する場づくりをサポートすることを目指します。活動する際にネックとなる、人、資金、場所をサロンを活用することで、活動のはじめの一步を踏み出しやすくします。

また、参加メンバーが固定化してきている点も課題としてあるため、新たな参加者を募集し、そこから担い手の発掘も目指します。

②子育て世代や子どもなど多様な世代への活動スタートアップ

保育園や児童館など子ども向け施設がサロン周辺にもいくつかありますが、一度お昼で閉まるため、「お昼ご飯を食べる場所があれば。。。」という声を耳にしました。そこで、サロン周辺の子育て世代がサロンをもっと活用することを目指します。今年度は、ものづくりや体験ワークショップなどをメインにサロンの特色を広く知っていただける取り組みや情報発信を行います。

(2) 事業実施による目標の達成度

①シニアの得意や好きを活かす〇〇さんの日

新しく取り組みに参加した方は、計20名でした。今年度は、しみん新聞で広報を数回行ったこともあり、しみん新聞を見て参加した方もいました。また、そこから継続的な参加につながった方もいます。新しい取り組みへのサポートを行い、次年度にも継続して実施するための体制移行を行うことができました。

多くの参加者から「サロンでの活動が健康につながっている」という声を聞くことができ、積極的に参加して下さるシニアの方が多かったです。参加者同士で「この取り組みは面白いから、あなたも参加したらどう？」などと話し、取り組みの輪が広がっている様子もみられました。

②子育て世代や子どもなど多様な世代への活動スタートアップ

サロンを従来の「シニアが中心の居場所」としてだけでなく「子育て世代にとっての居場所」として利用者や地域に周知することができました。実際に、「土曜日に開催している居場所が少ないので助かります」といった声があり、他の居場所が土曜日に開催されていないことから、近隣はもちろん遠方からの参加者もあり、子育て世代のニーズを満たす活動を展開することができました。

また、子育て世代を対象にした活動創出に取り組み、支援対象者の次のステップに向けたサポートを実施しました。

4 今後の抱負

① シニアの得意や好きを活かす〇〇さんの日

昨年度に課題として掲げていた、次のステップに向けたサポートについては、納得をもって体制の変更に取り組んでいただけた状態となったため、来年度以降も引き続きサポートをしながら、定期的な活動相談の場を設ける必要があります。

② 子育て世代や子どもなど多様な世代への活動スタートアップ

1回あたりの参加人数が昨年度と比べて大幅に増えたことで、対応可能人数を検討する必要がでてきました。今年度は、事前申し込み不要で実施してきたが、参加が多く予想される取組などは事前申し込み制を検討していく必要があります。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1	利用料金の収入実績 令和5年度実績：4,715,120円（前年度比125%） 〔内訳 会議室等：4,678,600円 附属設備：36,520円〕
2	管理運営に係る経費の収支決算 別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1	利用者満足度の把握状況 (1) 全センター共通窓口サービス調査 【実施時期】令和5年11月実施 【調査項目】窓口サービス (2) センター独自アンケート 事業実施時にアンケートを実施																																																
2	利用者満足度把握の結果 (1) 全センター共通窓口サービス																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>たいへん満足</th> <th>満足</th> <th>不満</th> <th>たいへん不満</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①案内表示のわかりやすさ</td> <td>28.6%</td> <td>63.8%</td> <td>6.7%</td> <td>0%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>②挨拶や声かけ</td> <td>43.8%</td> <td>55.2%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>③身だしなみ</td> <td>41.9%</td> <td>57.1%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>④表情や態度</td> <td>45.7%</td> <td>51.4%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>⑤言葉づかいや説明の丁寧さ</td> <td>41.9%</td> <td>55.2%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>⑥説明のわかりやすさ</td> <td>37.1%</td> <td>59%</td> <td>1%</td> <td>0%</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>⑦整理整頓</td> <td>41.9%</td> <td>55.2%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>2.9%</td> </tr> </tbody> </table>		たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答	①案内表示のわかりやすさ	28.6%	63.8%	6.7%	0%	1%	②挨拶や声かけ	43.8%	55.2%	0%	0%	1%	③身だしなみ	41.9%	57.1%	0%	0%	1%	④表情や態度	45.7%	51.4%	0%	0%	2.9%	⑤言葉づかいや説明の丁寧さ	41.9%	55.2%	0%	0%	2.9%	⑥説明のわかりやすさ	37.1%	59%	1%	0%	2.9%	⑦整理整頓	41.9%	55.2%	0%	0%	2.9%
	たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答																																												
①案内表示のわかりやすさ	28.6%	63.8%	6.7%	0%	1%																																												
②挨拶や声かけ	43.8%	55.2%	0%	0%	1%																																												
③身だしなみ	41.9%	57.1%	0%	0%	1%																																												
④表情や態度	45.7%	51.4%	0%	0%	2.9%																																												
⑤言葉づかいや説明の丁寧さ	41.9%	55.2%	0%	0%	2.9%																																												
⑥説明のわかりやすさ	37.1%	59%	1%	0%	2.9%																																												
⑦整理整頓	41.9%	55.2%	0%	0%	2.9%																																												
	(2) センター独自アンケート 市民の学び・対話の場づくりと市民活動団体の創出 第2回「住民がまちの在り方とともに考えるこれからの公園」 とても満足した：71%/満足した：29% 理由： ・自分が公園で活動してうえでのヒントを得ることができたから。 ・公園は住民たちが作り上げていくものであり、ルールも自分たちでつくっていくものであるという話に共感した。 ・小さな活動、芝生づくり、気功とともに公園のイメージが広がった。																																																

3 意見等への主な対応状況

- ・節電の関係で廊下の照明が暗い。人気もなく、子どもの利用もあるため危険なのではないか。
→点灯する照明の数を増やしました。また、点灯時間を従来より早めに点灯するよう心がけています。
- ・上記以外には、「部屋代が高くなり、困った」「あと100円安いとありがたい」という利用料金に関する意見、「5分前入室にしてほしい」という入室時間に関する意見、「WEBでの予約、キャンセルができたらいい」、「キャッシュレス対応を検討してほしい」という予約・受付に関する意見がありました。いずれも、現在のセンターの運営状況では安定的に導入することが困難なため今後の検討素材としています。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- **取り組んだ事業等の総括を記載してください。**

貸館に関して、昨年度に比べて件数は減少しましたが、利用時間数や売上は増加しました。昨年度の初めの3ヶ月は、イレギュラーなものでしたので、今年度の金額が一定の基準となります。利用促進のために、SNS (facebook、X、Instagram) での広報や Google 広告などを行いました。SNS においては、媒体ごとにターゲット層を意識した発信を来年度以降も実施していきます。

事業に関しては、継続事業が多かったため、地域の方々に少しずつセンターの取り組みを知っていただき、ご相談をいただくことが増えました。地域からの声に応える取り組みについては、引き続き改善しながら実施していきます。

- **今後、解決すべき課題等があれば記載してください。**

貸館に関しては、昨年度より利用時間数や売上は増加しましたが、今後の運営やセンターの空き状況を考慮すると、利用拡大に向けた課題があります。

事業に関しては、求めている方や対象者に情報が適切に届くような広報や地域とのネットワーク構築が課題となっています。さらに、センターの取り組みを地域に広く届けるためにも必要です。

- **次年度に向けた対応について記載してください。**

貸館に関しては、さらに利用を促進するための方法を検討し、実施していきます。具体的には、伏見センターの場合、伏見区内の方に多くご利用いただいているため、近隣店舗へのチラシ配布や既存利用者の口コミなどを活用して、より多くの方にセンターの存在を知っていただけるよう取り組みます。

事業については、対象者を明確にし、必要な事業を展開していけるよう事業の見直しも視野にいれます。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

特になし

京都市伏見 いきいき市民活動センター
 指定管理料等に関する収支決算書（令和5年度分）

指定管理者名 有限責任事業組合まち
 としごと総合研究所

代表者名 岡本卓也

①指定管理業務の収支状況				
項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		16,961,240	16,961,240	0
利用料金収入		4,229,880	4,715,120	485,240
	会議室等	4,200,000	4,678,600	478,600
	スモールオフィス	0	0	0
	付属設備（自主事業を除く）	29,880	36,520	6,640
その他収入	光熱水費分担金	0	0	0
	個別事業参加費	0	0	0
当期収入合計		21,191,120	21,676,360	485,240
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		8,888,400	9,014,653	▲ 126,253
	職員9名	7,588,400	7,770,075	▲ 181,675
	法定福利費	1,300,000	1,244,578	55,422
光熱水費		2,750,000	2,178,753	571,247
	電気代	1,600,000	1,295,053	304,947
	ガス代	1,000,000	765,196	234,804
	水道代	150,000	118,504	31,496
施設管理費		1,633,060	1,633,060	0
	定期清掃等	440,000	440,000	0
	機械警備	256,080	256,080	0
	消防保守点検	71,500	71,500	0
	空調保守点検	253,000	253,000	0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検	49,500	49,500	0
	自家用電気工作物	246,840	246,840	0
	建築設備点検	71,500	71,500	0
	特殊建築物点検	110,000	110,000	0
	一般廃棄物	114,840	114,840	0
	産業廃棄物	19,800	19,800	0
事務費		1,002,000	1,554,492	▲ 552,492
	旅費交通費	400,000	525,480	▲ 125,480
	消耗備品費	60,000	112,278	▲ 52,278
	印刷費	40,000	35,200	4,800
	リース料	140,000	158,236	▲ 18,236
	通信費	330,000	301,831	28,169
	新聞図書費	22,000	31,272	▲ 9,272
	広告宣伝費	0	57,305	▲ 57,305
	業務委託料	0	55,000	▲ 55,000
	支払報酬	0	266,860	▲ 266,860
	支払手数料	10,000	11,030	▲ 1,030

修繕費		260,000	542,130	▲ 282,130
本館踊り場蛍光灯点検			38,500	
サロン消防設備修繕			28,600	
会議室306LED非常用照明器具取替修繕			66,000	
空調室外機修繕			156,200	
本館玄関引き戸鍵取り付け			8,800	
会議室305自動火災報知設備修繕			13,750	
非常用照明バッテリー取替修繕			215,600	
自転車修理代			14,680	
備品購入費（5万円以上の物品）		0	0	0
なし			0	0
租税公課		1,400,000	1,402,338	▲ 2,338
租税効果		0	400	▲ 400
消費税		1,400,000	1,401,938	▲ 1,938
その他		16,100	16,100	0
賠償責任保険保険料		16,100	16,100	0
施設運營業務支出合計		15,949,560	16,341,526	▲ 391,966
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,465,000	3,376,734	88,266
伏見の市民活動を生み出す支援プロジェクト		2,275,000	2,255,608	19,392
市民活動団体や地域団体の伴走支援プロジェクト		1,190,000	1,121,126	68,874
サロン運営・活用事業費		1,285,000	1,281,295	3,705
多世代交流拠点きょういく基地プロジェクト		1,285,000	1,281,295	3,705
その他	事業実施業務繰越	0	0	0
事業実施業務支出合計		4,750,000	4,658,029	91,971
当期支出合計		20,699,560	20,999,555	▲ 299,995
当期収支差額		491,560	676,805	185,245